

一般教育科目

科目名	教養演習 A		担当教員	佐々木正晴																		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード G50000																		
概要	[キーワード：逆さめがね，移動行動，操作行動，障害状況，形成過程] 視野を上下逆さにするめがねをかけると，当初，つまずいて転んだり，うまく物をつかめず落としたりする．その状況を克服していく過程を明らかにする．ひとりひとりが実験者であり被験者．視野を遮蔽するアイマスク事態，視野を制限するピンホール事態を実験圏内に据える．																					
到達目標	A. 逆さめがねをかけた当初，障害状況が起こる．その障害状況を打開すること． B. その形成過程を理論化すること．																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 演習の進め方.</td> <td>10. 視野制限実験.</td> </tr> <tr> <td>2. アイマスク，ピンホール，逆さめがねを体験.</td> <td>11. 報告書発表.</td> </tr> <tr> <td>3. 公園にてブランコ，滑り台，鉄棒の実験.</td> <td>12. 報告書発表.</td> </tr> <tr> <td>4. 前年度の実験成果・報告書の読み合わせ.</td> <td>13. 再度，実験.</td> </tr> <tr> <td>5. 前年度の実験成果読み合わせ.</td> <td>14. 報告書作成.</td> </tr> <tr> <td>6. アイマスク，ピンホール，逆さめがねを体験.</td> <td>15. 総括．成果発表(Power P.)</td> </tr> <tr> <td>7. 実験 Group 形成.</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 実験開始．視野遮蔽実験.</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 逆さめがね実験.</td> <td></td> </tr> </table>				1. 演習の進め方.	10. 視野制限実験.	2. アイマスク，ピンホール，逆さめがねを体験.	11. 報告書発表.	3. 公園にてブランコ，滑り台，鉄棒の実験.	12. 報告書発表.	4. 前年度の実験成果・報告書の読み合わせ.	13. 再度，実験.	5. 前年度の実験成果読み合わせ.	14. 報告書作成.	6. アイマスク，ピンホール，逆さめがねを体験.	15. 総括．成果発表(Power P.)	7. 実験 Group 形成.		8. 実験開始．視野遮蔽実験.		9. 逆さめがね実験.	
1. 演習の進め方.	10. 視野制限実験.																					
2. アイマスク，ピンホール，逆さめがねを体験.	11. 報告書発表.																					
3. 公園にてブランコ，滑り台，鉄棒の実験.	12. 報告書発表.																					
4. 前年度の実験成果・報告書の読み合わせ.	13. 再度，実験.																					
5. 前年度の実験成果読み合わせ.	14. 報告書作成.																					
6. アイマスク，ピンホール，逆さめがねを体験.	15. 総括．成果発表(Power P.)																					
7. 実験 Group 形成.																						
8. 実験開始．視野遮蔽実験.																						
9. 逆さめがね実験.																						
評価方法	出席 50 点、レポート 50 点.																					
教材・教科書	なし.																					
留意点	逆さめがねをかけ，構内をあちこち歩いたり，食事をしたり，部屋を整理整頓する．転んでも立ち上がることを，物を落としても拾うこと．																					

一般教育科目

科目名	教養演習 B		担当教員	佐々木正晴																		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード G50001																		
概要	[キーワード：逆さめがね，移動行動，操作行動，障害状況，形成過程] 視野を上下に逆さにするめがねをかけると，当初，つまずいて転んだり，うまく物をつかめず落としたりする．その状況を克服していく過程を明らかにする．ひとりひとりが実験者であり被験者になる．教養演習 A と方針は同じである．視野を遮蔽するアイマスク事態，視野を制限するピンホール事態を実験圏内に据える．																					
到達目標	A. 逆さめがねをかけた当初，障害状況が起こる．その障害状況を打開すること． B. その形成過程を理論化すること．																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 前期報告書を読み合わせ.</td> <td>10. 書字実験，報告書</td> </tr> <tr> <td>2. ブランコ，滑り台，鉄棒，実験.</td> <td>11. まとめ</td> </tr> <tr> <td>3. 実験 Group 形成．新たな問題を設定.</td> <td>12. 追加実験，報告書</td> </tr> <tr> <td>4. 各 Group 実験開始.</td> <td>13. 全体実験，報告書</td> </tr> <tr> <td>5. 屋内歩行実験，報告書</td> <td>14. 総括，成果発表(Power P.)の準備</td> </tr> <tr> <td>6. 屋外歩行実験，報告書</td> <td>15. 成果発表(Power P.)</td> </tr> <tr> <td>7. 公園歩行実験，報告書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 食事実験，報告書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 楽器演奏実験，報告書</td> <td></td> </tr> </table>				1. 前期報告書を読み合わせ.	10. 書字実験，報告書	2. ブランコ，滑り台，鉄棒，実験.	11. まとめ	3. 実験 Group 形成．新たな問題を設定.	12. 追加実験，報告書	4. 各 Group 実験開始.	13. 全体実験，報告書	5. 屋内歩行実験，報告書	14. 総括，成果発表(Power P.)の準備	6. 屋外歩行実験，報告書	15. 成果発表(Power P.)	7. 公園歩行実験，報告書		8. 食事実験，報告書		9. 楽器演奏実験，報告書	
1. 前期報告書を読み合わせ.	10. 書字実験，報告書																					
2. ブランコ，滑り台，鉄棒，実験.	11. まとめ																					
3. 実験 Group 形成．新たな問題を設定.	12. 追加実験，報告書																					
4. 各 Group 実験開始.	13. 全体実験，報告書																					
5. 屋内歩行実験，報告書	14. 総括，成果発表(Power P.)の準備																					
6. 屋外歩行実験，報告書	15. 成果発表(Power P.)																					
7. 公園歩行実験，報告書																						
8. 食事実験，報告書																						
9. 楽器演奏実験，報告書																						
評価方法	出席 50 点 ， レポート 50 点.																					
教材・教科書	なし.																					
留意点	逆さめがねをかけ，構内をあちこち歩いたり，食事をしたり，部屋を整理整頓する．転んでも立ち上がることを，物を落としても拾うこと．																					

一般教育科目

科目名	教養演習 F			担当教員	森田猛																		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	G50005																		
概要	〔キーワード： 独書講読、ドイツがみた日本 〕 ドイツの Brockhaus 百科事典 Der Brockhaus の日本にかんする項目を訳読しながら、ドイツからみた日本の姿を追う。																						
到達目標	独文解釈力の要請と、日本に対する見方の深化。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 導入</td> <td>10. 独書講読⑥Japan, Geschichte 1</td> </tr> <tr> <td>2. ドイツからみた日本</td> <td>11. 独書講読⑦Japan, Geschichte 2</td> </tr> <tr> <td>3. 独書講読①Japan, Staat und Recht 1</td> <td>12. 独書講読⑧Japan, Geschichte 3</td> </tr> <tr> <td>4. 独書講読②Japan, Staat und Recht 2</td> <td>13. 独書講読⑨japanische Literatur 1</td> </tr> <tr> <td>5. 独書講読③Japan, Landesnatur 1</td> <td>14. 独書講読⑩japanische Literatur 2</td> </tr> <tr> <td>6. 独書講読④Japan, Landesnatur 2</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 独書講読⑤Japan, Bevölkerung</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. ドイツ文化について①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. ドイツ文化について②</td> <td></td> </tr> </table>					1. 導入	10. 独書講読⑥Japan, Geschichte 1	2. ドイツからみた日本	11. 独書講読⑦Japan, Geschichte 2	3. 独書講読①Japan, Staat und Recht 1	12. 独書講読⑧Japan, Geschichte 3	4. 独書講読②Japan, Staat und Recht 2	13. 独書講読⑨japanische Literatur 1	5. 独書講読③Japan, Landesnatur 1	14. 独書講読⑩japanische Literatur 2	6. 独書講読④Japan, Landesnatur 2	15. まとめ	7. 独書講読⑤Japan, Bevölkerung		8. ドイツ文化について①		9. ドイツ文化について②	
1. 導入	10. 独書講読⑥Japan, Geschichte 1																						
2. ドイツからみた日本	11. 独書講読⑦Japan, Geschichte 2																						
3. 独書講読①Japan, Staat und Recht 1	12. 独書講読⑧Japan, Geschichte 3																						
4. 独書講読②Japan, Staat und Recht 2	13. 独書講読⑨japanische Literatur 1																						
5. 独書講読③Japan, Landesnatur 1	14. 独書講読⑩japanische Literatur 2																						
6. 独書講読④Japan, Landesnatur 2	15. まとめ																						
7. 独書講読⑤Japan, Bevölkerung																							
8. ドイツ文化について①																							
9. ドイツ文化について②																							
評価方法	平常点 50%、レポート 50%																						
教材・教科書	プリントを配布する。																						
留意点	外国語科目の「ドイツ語」を履修していること。																						

一般教育科目

科目名	教養演習 G			担当教員	佐藤幸正																		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	G50006																		
概要	〔キーワード： TOEIC〕 基礎的な Listening を学びながら、Listening スコアの向上をめざします。また、同時に英語の音声や、音声のしくみについても詳しく学んでいきます。																						
到達目標	TOEIC 受験対策																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 短縮形 (1) 主語+be 動詞など</td> <td>10. 同化 (1) [t,d] + [j]</td> </tr> <tr> <td>2. 短縮形 (2) 主語+will, would</td> <td>11. 同化 (2) [s, z] + [j]</td> </tr> <tr> <td>3. 短縮形 (3) さまざまな形の助動詞</td> <td>12. 同化 (3) [n, t, n + I, ...]</td> </tr> <tr> <td>4. 連結 (1) 破裂音[p,t,k, b,d,g] + 母音</td> <td>13. さまざまな同化</td> </tr> <tr> <td>5. 連結 (2) 鼻音[n,m,ŋ] + 母音</td> <td>14. リズムの谷間で弱くなる音</td> </tr> <tr> <td>6. 連結 (3) その他の子音 + 母音</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 破裂音 (1) 語尾・文末で</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 破裂音 (2) 子音の前で</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 破裂音 (3) さまざまな[t]の音</td> <td></td> </tr> </table>					1. 短縮形 (1) 主語+be 動詞など	10. 同化 (1) [t,d] + [j]	2. 短縮形 (2) 主語+will, would	11. 同化 (2) [s, z] + [j]	3. 短縮形 (3) さまざまな形の助動詞	12. 同化 (3) [n, t, n + I, ...]	4. 連結 (1) 破裂音[p,t,k, b,d,g] + 母音	13. さまざまな同化	5. 連結 (2) 鼻音[n,m,ŋ] + 母音	14. リズムの谷間で弱くなる音	6. 連結 (3) その他の子音 + 母音	15. まとめ	7. 破裂音 (1) 語尾・文末で		8. 破裂音 (2) 子音の前で		9. 破裂音 (3) さまざまな[t]の音	
1. 短縮形 (1) 主語+be 動詞など	10. 同化 (1) [t,d] + [j]																						
2. 短縮形 (2) 主語+will, would	11. 同化 (2) [s, z] + [j]																						
3. 短縮形 (3) さまざまな形の助動詞	12. 同化 (3) [n, t, n + I, ...]																						
4. 連結 (1) 破裂音[p,t,k, b,d,g] + 母音	13. さまざまな同化																						
5. 連結 (2) 鼻音[n,m,ŋ] + 母音	14. リズムの谷間で弱くなる音																						
6. 連結 (3) その他の子音 + 母音	15. まとめ																						
7. 破裂音 (1) 語尾・文末で																							
8. 破裂音 (2) 子音の前で																							
9. 破裂音 (3) さまざまな[t]の音																							
評価方法	出席点 (20%)、テスト (80%)																						
教材・教科書	湯舟英一・Bill Benfield 共著 Bottom Up Listening for the TOEIC Test (成美堂)																						
留意点	出席重視																						

一般教育科目

科目名	教養演習 H		担当教員	川浪亜弥子																		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード G50007																		
概要	<p>〔キーワード：TOEIC, Living English〕</p> <p>TOEIC 形式の問題を解きながら TOEIC 試験対策をしていくと共に、普段の会話で実際に使える英語力を身につけていきます。Reading では、各セクションでキーとなる文法事項や語彙を把握するようにします。Listening では、音読やシャドーイングなどを通して聴く力を向上するようにします。</p>																					
到達目標	TOEIC 受験、TOEIC 対策を通しての英語の総合力の向上																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. Introduction</td> <td>10. Transactions</td> </tr> <tr> <td>2. Events</td> <td>11. Documents</td> </tr> <tr> <td>3. Eating Out</td> <td>12. Public Announcements</td> </tr> <tr> <td>4. Shopping</td> <td>13. Commuting</td> </tr> <tr> <td>5. Housing</td> <td>14. Travel/News</td> </tr> <tr> <td>6. Personnel</td> <td>15. Review</td> </tr> <tr> <td>7. Office</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. Finance and Banking</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. Management</td> <td></td> </tr> </table>				1. Introduction	10. Transactions	2. Events	11. Documents	3. Eating Out	12. Public Announcements	4. Shopping	13. Commuting	5. Housing	14. Travel/News	6. Personnel	15. Review	7. Office		8. Finance and Banking		9. Management	
1. Introduction	10. Transactions																					
2. Events	11. Documents																					
3. Eating Out	12. Public Announcements																					
4. Shopping	13. Commuting																					
5. Housing	14. Travel/News																					
6. Personnel	15. Review																					
7. Office																						
8. Finance and Banking																						
9. Management																						
評価方法	出席 30%・テスト 70%																					
教材・教科書	Gear Up for the TOEIC Test (Kinseido, 2013)																					
留意点																						

一般教育科目

科目名	教養演習 I (常識日本語)		担当教員	今村かほる																				
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード G50008																				
概要	<p>〔キーワード：四字熟語、ことわざ、有名フレーズ〕</p> <p>日常の基礎的な日本語について、既にある知識を整理し、あやふやな記憶はただし、うっかり知らないままで来てしまったことはしっかりと覚えるために作業を含む「演習」を行う。共通関連科目の「表現の技術」では取り扱わない部分を補う。</p>																							
到達目標	現代日本語の能力として、大学生として当然に身に付けていなければならない最低限のレベルまでは、受講者がそろって到達することを目標とする。もちろん、さらに上のレベルを目指す受講者が多数現れることを期待する。																							
授業の内容	<p>取り扱う内容はおおむね以下の通り。ただし、受講生の人数とレベルによって変動があるので、以下は演習の進行順ではない。(実際のプログラムは、演習の第1回に参加者と協議の上で決定する。)</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 同音異義語 1</td> <td>6. 難読漢字</td> </tr> <tr> <td>2. 同音異義語 2</td> <td>7. ことわざ 1</td> </tr> <tr> <td>3. 四字熟語 1</td> <td>8. ことわざ 2</td> </tr> <tr> <td>4. 四字熟語 2</td> <td>9. 慣用表現</td> </tr> <tr> <td>5. 故事成語</td> <td>10. 手紙・電子メールの書き方</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11. 名句・名歌 1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12. 名句・名歌 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13. 文学作品の有名フレーズ 1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>14. 文学作品の有名フレーズ 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15. まとめ、講義評価</td> </tr> </table>				1. 同音異義語 1	6. 難読漢字	2. 同音異義語 2	7. ことわざ 1	3. 四字熟語 1	8. ことわざ 2	4. 四字熟語 2	9. 慣用表現	5. 故事成語	10. 手紙・電子メールの書き方		11. 名句・名歌 1		12. 名句・名歌 2		13. 文学作品の有名フレーズ 1		14. 文学作品の有名フレーズ 2		15. まとめ、講義評価
1. 同音異義語 1	6. 難読漢字																							
2. 同音異義語 2	7. ことわざ 1																							
3. 四字熟語 1	8. ことわざ 2																							
4. 四字熟語 2	9. 慣用表現																							
5. 故事成語	10. 手紙・電子メールの書き方																							
	11. 名句・名歌 1																							
	12. 名句・名歌 2																							
	13. 文学作品の有名フレーズ 1																							
	14. 文学作品の有名フレーズ 2																							
	15. まとめ、講義評価																							
評価方法	出席(欠席一回につき、3点をマイナスする)、課題の提出、発表を総合。																							
教材・教科書	プリント使用。																							
留意点																								

一般教育科目

科目名	教養演習 M		担当教員	須川公央																		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード G50012																		
概要	<p>〔キーワード： 授業力、授業分析、指導案の作成〕</p> <p>本演習では、「授業力」をテーマに、学生諸君の授業力（学級の適切な運営、教授スキル、教材研究、生徒とのコミュニケーション能力）の育成を図ることを目的とするものである。具体的には、模擬授業の実施とそのフィードバックを通して、自らの授業の問題点を把握し、その改善に努めると同時に、授業という営為それ自体の実践的感覚を掴んでもらうことを主眼とするものである。</p>																					
到達目標	<p>授業をきちんとこなせるようになること。</p> <p>授業分析が出来るようになること。</p>																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>10. 模擬授業・授業分析（9）</td> </tr> <tr> <td>2. 模擬授業・授業分析（1）</td> <td>11. 模擬授業・授業分析（10）</td> </tr> <tr> <td>3. 模擬授業・授業分析（2）</td> <td>12. 模擬授業・授業分析（11）</td> </tr> <tr> <td>4. 模擬授業・授業分析（3）</td> <td>13. 模擬授業・授業分析（12）</td> </tr> <tr> <td>5. 模擬授業・授業分析（4）</td> <td>14. 模擬授業・授業分析（13）</td> </tr> <tr> <td>6. 模擬授業・授業分析（5）</td> <td>15. 演習の振り返り</td> </tr> <tr> <td>7. 模擬授業・授業分析（6）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 模擬授業・授業分析（7）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 模擬授業・授業分析（8）</td> <td></td> </tr> </table>				1. オリエンテーション	10. 模擬授業・授業分析（9）	2. 模擬授業・授業分析（1）	11. 模擬授業・授業分析（10）	3. 模擬授業・授業分析（2）	12. 模擬授業・授業分析（11）	4. 模擬授業・授業分析（3）	13. 模擬授業・授業分析（12）	5. 模擬授業・授業分析（4）	14. 模擬授業・授業分析（13）	6. 模擬授業・授業分析（5）	15. 演習の振り返り	7. 模擬授業・授業分析（6）		8. 模擬授業・授業分析（7）		9. 模擬授業・授業分析（8）	
1. オリエンテーション	10. 模擬授業・授業分析（9）																					
2. 模擬授業・授業分析（1）	11. 模擬授業・授業分析（10）																					
3. 模擬授業・授業分析（2）	12. 模擬授業・授業分析（11）																					
4. 模擬授業・授業分析（3）	13. 模擬授業・授業分析（12）																					
5. 模擬授業・授業分析（4）	14. 模擬授業・授業分析（13）																					
6. 模擬授業・授業分析（5）	15. 演習の振り返り																					
7. 模擬授業・授業分析（6）																						
8. 模擬授業・授業分析（7）																						
9. 模擬授業・授業分析（8）																						
評価方法	<p>出席状況（25点）および演習の貢献度（75点）などを総合的に勘案して評価する。なお、授業の欠席は基本的に認められないので注意すること。</p>																					
教材・教科書	<p>日文科の学生は、中学二年生用の国語教科書である『国語2』光村図書を、英文科の学生は、中学二年生用の英語教科書である『NEW HORIZON 2』東京書籍を授業開始日までに各自、購入しておくこと。</p>																					
留意点	<p>本演習への受講は、教職履修者に限定されるものではない。プレゼンテーション能力、自己表現力を高めたいという学生の受講を歓迎する。なお、初回に、発表担当者を決める関係上、受講予定者は、初回から積極的に受講の意思を表明すること。</p>																					

一般教育科目

科目名	教養演習 N		担当教員	須川公央																		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード G50013																		
概要	<p>〔キーワード： 教職教養、教員採用試験〕</p> <p>主として教員採用試験受験者を対象に、「教職教養」の全領域にわたって講義および問題演習を行う。</p>																					
到達目標	<p>教職教養に関わる基礎的な知識の習得</p>																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>10. 学習指導要領（問題演習）</td> </tr> <tr> <td>2. 教育心理（講義）</td> <td>11. 教育原理（講義）</td> </tr> <tr> <td>3. 教育心理（講義）</td> <td>12. 教育原理（講義）</td> </tr> <tr> <td>4. 教育心理（問題演習）</td> <td>13. 教育原理（問題演習）</td> </tr> <tr> <td>5. 生徒指導（講義）</td> <td>14. 教育法規（講義）</td> </tr> <tr> <td>6. 生徒指導（問題演習）</td> <td>15. 教育法規（問題演習）</td> </tr> <tr> <td>7. 教育史（講義）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 教育史（問題演習）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 学習指導要領（講義）</td> <td></td> </tr> </table>				1. オリエンテーション	10. 学習指導要領（問題演習）	2. 教育心理（講義）	11. 教育原理（講義）	3. 教育心理（講義）	12. 教育原理（講義）	4. 教育心理（問題演習）	13. 教育原理（問題演習）	5. 生徒指導（講義）	14. 教育法規（講義）	6. 生徒指導（問題演習）	15. 教育法規（問題演習）	7. 教育史（講義）		8. 教育史（問題演習）		9. 学習指導要領（講義）	
1. オリエンテーション	10. 学習指導要領（問題演習）																					
2. 教育心理（講義）	11. 教育原理（講義）																					
3. 教育心理（講義）	12. 教育原理（講義）																					
4. 教育心理（問題演習）	13. 教育原理（問題演習）																					
5. 生徒指導（講義）	14. 教育法規（講義）																					
6. 生徒指導（問題演習）	15. 教育法規（問題演習）																					
7. 教育史（講義）																						
8. 教育史（問題演習）																						
9. 学習指導要領（講義）																						
評価方法	<p>期末試験の結果（100点）で評価する。なお、授業の欠席は基本的に認められない。</p>																					
教材・教科書	<p>毎回、プリント資料を配付する。</p>																					
留意点	<p>教員採用試験の受験予定者は、出来る限り本演習を履修することが望ましい（ただし、本演習は教職履修者に限定されるものではない）。</p>																					

一般教育科目

科目名	教養演習 O		担当教員	坂井任																		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード G50014																		
概要	[キーワード: 現代物理学] 世界は何からできているのか、「世界を支配している原理とは何か」、これらの問題に対する現代物理学の成果に触れてみよう。今年度は放射線を中心テーマにする。																					
到達目標	現代物理学の世界観を理解する。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス、テキスト輪読</td> <td>10. テキスト輪読(原子力発電と放射性物質)</td> </tr> <tr> <td>2. テキスト輪読(原子核と放射線)</td> <td>11. テキスト輪読(原子力発電と放射性物質)</td> </tr> <tr> <td>3. テキスト輪読(原子核と放射線)</td> <td>12. テキスト輪読(放射線の測定)</td> </tr> <tr> <td>4. テキスト輪読(原子核と放射線)</td> <td>13. テキスト輪読(放射線の測定)</td> </tr> <tr> <td>5. テキスト輪読(放射線の性質)</td> <td>14. テキスト輪読(放射線の利用)</td> </tr> <tr> <td>6. テキスト輪読(放射線の性質)</td> <td>15. テキスト輪読(放射線の利用)</td> </tr> <tr> <td>7. テキスト輪読(放射線の性質)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. テキスト輪読(放射線の性質)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. テキスト輪読(原子力発電と放射性物質)</td> <td></td> </tr> </table>				1. ガイダンス、テキスト輪読	10. テキスト輪読(原子力発電と放射性物質)	2. テキスト輪読(原子核と放射線)	11. テキスト輪読(原子力発電と放射性物質)	3. テキスト輪読(原子核と放射線)	12. テキスト輪読(放射線の測定)	4. テキスト輪読(原子核と放射線)	13. テキスト輪読(放射線の測定)	5. テキスト輪読(放射線の性質)	14. テキスト輪読(放射線の利用)	6. テキスト輪読(放射線の性質)	15. テキスト輪読(放射線の利用)	7. テキスト輪読(放射線の性質)		8. テキスト輪読(放射線の性質)		9. テキスト輪読(原子力発電と放射性物質)	
1. ガイダンス、テキスト輪読	10. テキスト輪読(原子力発電と放射性物質)																					
2. テキスト輪読(原子核と放射線)	11. テキスト輪読(原子力発電と放射性物質)																					
3. テキスト輪読(原子核と放射線)	12. テキスト輪読(放射線の測定)																					
4. テキスト輪読(原子核と放射線)	13. テキスト輪読(放射線の測定)																					
5. テキスト輪読(放射線の性質)	14. テキスト輪読(放射線の利用)																					
6. テキスト輪読(放射線の性質)	15. テキスト輪読(放射線の利用)																					
7. テキスト輪読(放射線の性質)																						
8. テキスト輪読(放射線の性質)																						
9. テキスト輪読(原子力発電と放射性物質)																						
評価方法	レポート(40%)、出席状況+授業への取組(60%)																					
教材・教科書	必要に応じてプリント配布																					
留意点	2005年度以降入学生のみ受講できる。																					

一般教育科目

科目名	教養演習 P		担当教員	生島美和																		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード G50015																		
概要	[キーワード: 若者、ユースワーク、参加型社会] 「居場所: 仲間や大人とともにさまざまな体験を通して成長できるような空間」論に触れながら、若者の参加による新しい社会づくりへの展望について、その展望を捉えるとともに、多様な実践や見解を理解する。																					
到達目標	文献解題をしながら、内容についての理解を深めるとともに、要約・発表を通じて自分なりの意見を持ち、討議を進めていく力をつける。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>10. 高校の部活動と居場所づくり</td> </tr> <tr> <td>2. 「居場所論」若者の社会参加の動向</td> <td>11. 居場所と参加を生み出す方法論</td> </tr> <tr> <td>3. 若者の居場所とユースワーク</td> <td>12. 若者支援とユースワーカー</td> </tr> <tr> <td>4. 近代課題としての居場所</td> <td>13. 市民と行政の共同による居場所づくり</td> </tr> <tr> <td>5. 「居場所」の批判的検討</td> <td>14. 子ども・若者を支援する行政の課題</td> </tr> <tr> <td>6. 子ども・若者支援の政策と展開</td> <td>15. 居場所を生み出す「社会」の構築</td> </tr> <tr> <td>7. 若者の「居場所」へのまなざし—史的考察—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 地域の青少年育成活動と居場所づくり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 青少年センターでの居場所づくり</td> <td></td> </tr> </table>				1. オリエンテーション	10. 高校の部活動と居場所づくり	2. 「居場所論」若者の社会参加の動向	11. 居場所と参加を生み出す方法論	3. 若者の居場所とユースワーク	12. 若者支援とユースワーカー	4. 近代課題としての居場所	13. 市民と行政の共同による居場所づくり	5. 「居場所」の批判的検討	14. 子ども・若者を支援する行政の課題	6. 子ども・若者支援の政策と展開	15. 居場所を生み出す「社会」の構築	7. 若者の「居場所」へのまなざし—史的考察—		8. 地域の青少年育成活動と居場所づくり		9. 青少年センターでの居場所づくり	
1. オリエンテーション	10. 高校の部活動と居場所づくり																					
2. 「居場所論」若者の社会参加の動向	11. 居場所と参加を生み出す方法論																					
3. 若者の居場所とユースワーク	12. 若者支援とユースワーカー																					
4. 近代課題としての居場所	13. 市民と行政の共同による居場所づくり																					
5. 「居場所」の批判的検討	14. 子ども・若者を支援する行政の課題																					
6. 子ども・若者支援の政策と展開	15. 居場所を生み出す「社会」の構築																					
7. 若者の「居場所」へのまなざし—史的考察—																						
8. 地域の青少年育成活動と居場所づくり																						
9. 青少年センターでの居場所づくり																						
評価方法	授業時の積極的参加、実習への取り組み、報告内容で総合的に判断する。																					
教材・教科書	田中治彦・萩原建次郎『若者の居場所と参加』東洋館出版社、2012																					
留意点	各種資格(教員、社会教育主事ほか)の取得を目指している人はもちろん、そうでなくても、履修することができる。																					

一般教育科目

科目名	教養演習 R		担当教員	鎌田学		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード G50017		
概要	〔キーワード：2年目のフランス語、現代フランス文化〕 文法項目をスピーディーに総復習しつつ、旅行で使える実用表現を中心に学ぶ。また、現代フランスをアートシーンから眺めてみる。					
到達目標	文法を正確に理解すること。					
授業の内容	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%; border:none;"> 1. ガイダンス 2. Bonjour! 3. C'est un sac. 4. Je suis japonais. 5. J'habite rue des Écoles. 6. Vous avez quel âge? 7. Il fait beau. 8. Tu viens d'où? 9. Je prends de la viande. </td> <td style="width:50%; border:none;"> 10. Je la trouve plus jolie. 11. Je me lève à sept heures. 12. J' ai rencontré Théo hier. 13. Quand j' étais petite.. 14. Samedi prochain, j' irai à Toulouse. 15.まとめ </td> </tr> </table>				1. ガイダンス 2. Bonjour! 3. C'est un sac. 4. Je suis japonais. 5. J'habite rue des Écoles. 6. Vous avez quel âge? 7. Il fait beau. 8. Tu viens d'où? 9. Je prends de la viande.	10. Je la trouve plus jolie. 11. Je me lève à sept heures. 12. J' ai rencontré Théo hier. 13. Quand j' étais petite.. 14. Samedi prochain, j' irai à Toulouse. 15.まとめ
1. ガイダンス 2. Bonjour! 3. C'est un sac. 4. Je suis japonais. 5. J'habite rue des Écoles. 6. Vous avez quel âge? 7. Il fait beau. 8. Tu viens d'où? 9. Je prends de la viande.	10. Je la trouve plus jolie. 11. Je me lève à sept heures. 12. J' ai rencontré Théo hier. 13. Quand j' étais petite.. 14. Samedi prochain, j' irai à Toulouse. 15.まとめ					
評価方法	出席 (50%)、小テストおよび期末テスト(50%)					
教材・教科書	『Tout facile!』(白水社、本体 2200 円、CD 付き)					
留意点	既習であることが望ましい。					

一般教育科目

科目名	教養演習 W(キャリアサポート)		担当教員	坂井任		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード G50022		
概要	〔キーワード：社会人基礎力、SPI、算数〕 社会人基礎力として要求される算数力を確実に身につける。就職試験にも使われる SPI2 試験の非言語問題を通して基礎的な数的処理能力を養う。					
到達目標	SPI2 試験の非言語問題の解き方を完全に理解する。基礎的な計算が速く確実にできるようにする。					
授業の内容	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%; border:none;"> 1. ガイダンス+お試し実力テスト 2. 損益算/分割払い 3. 料金の割引/お金のやりとり 4. 速さ・距離・時間/旅人算 5. グラフの領域①・② 6. 表の読み取り 7. 資料解釈/長文の読み取り計算 8. 順列と組み合わせ 9. 確率 </td> <td style="width:50%; border:none;"> 10. 割合/集合 11. 推論 12. ブラックボックス 13. 物の流れと比率 14. 復習問題 15. まとめの実力判定 </td> </tr> </table>				1. ガイダンス+お試し実力テスト 2. 損益算/分割払い 3. 料金の割引/お金のやりとり 4. 速さ・距離・時間/旅人算 5. グラフの領域①・② 6. 表の読み取り 7. 資料解釈/長文の読み取り計算 8. 順列と組み合わせ 9. 確率	10. 割合/集合 11. 推論 12. ブラックボックス 13. 物の流れと比率 14. 復習問題 15. まとめの実力判定
1. ガイダンス+お試し実力テスト 2. 損益算/分割払い 3. 料金の割引/お金のやりとり 4. 速さ・距離・時間/旅人算 5. グラフの領域①・② 6. 表の読み取り 7. 資料解釈/長文の読み取り計算 8. 順列と組み合わせ 9. 確率	10. 割合/集合 11. 推論 12. ブラックボックス 13. 物の流れと比率 14. 復習問題 15. まとめの実力判定					
評価方法	出席(45%)・前回授業内容の復習テスト(25%)・最終実力テスト(30%)					
教材・教科書	伊藤誠彦『超速マスター！SPI【無敵の解法パターン】2014 年度版』高橋書店 (本体 1,100 円+税) ※ 発行年度を間違えないこと					
留意点	復習をきちんとして理解できないところを残さないようにすること。 ほぼ毎回「前回授業内容の復習テスト」を行うので、遅刻しないこと。					

一般教育科目

科目名	教養演習 X(キャリアサポート)		担当教員	坂井任																		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード G50023																		
概要	〔キーワード：社会人基礎力、数学検定3級〕 数学検定3級の問題を通じて、社会人基礎力として要求される高1レベルの数学に再チャレンジする。																					
到達目標	数学検定試験3級(中1～高1レベル)の数学の力をつける。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス+お試し実力テスト</td> <td>10. 方程式の応用問題</td> </tr> <tr> <td>2. 数の計算</td> <td>11. 関数の応用問題</td> </tr> <tr> <td>3. 式の計算</td> <td>12. 図形の応用問題</td> </tr> <tr> <td>4. 式の展開・因数分解</td> <td>13. 論理的応用問題</td> </tr> <tr> <td>5. 1次方程式・2次方程式</td> <td>14. 復習問題</td> </tr> <tr> <td>6. 連立方程式・1次不等式・式の変形</td> <td>15. まとめの実力判定</td> </tr> <tr> <td>7. 式の値・関数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 図形の角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 平行線の長さ・円周角</td> <td></td> </tr> </table>				1. ガイダンス+お試し実力テスト	10. 方程式の応用問題	2. 数の計算	11. 関数の応用問題	3. 式の計算	12. 図形の応用問題	4. 式の展開・因数分解	13. 論理的応用問題	5. 1次方程式・2次方程式	14. 復習問題	6. 連立方程式・1次不等式・式の変形	15. まとめの実力判定	7. 式の値・関数		8. 図形の角		9. 平行線の長さ・円周角	
1. ガイダンス+お試し実力テスト	10. 方程式の応用問題																					
2. 数の計算	11. 関数の応用問題																					
3. 式の計算	12. 図形の応用問題																					
4. 式の展開・因数分解	13. 論理的応用問題																					
5. 1次方程式・2次方程式	14. 復習問題																					
6. 連立方程式・1次不等式・式の変形	15. まとめの実力判定																					
7. 式の値・関数																						
8. 図形の角																						
9. 平行線の長さ・円周角																						
評価方法	出席(45%)・前回授業内容の復習テスト(25%)・最終実力テスト(30%)																					
教材・教科書	『ユーキャンの数学検定ステップアップ問題集 3級 (第2版)』自由国民社(本体1,000円+税) ※ 級を間違えないこと ※(第2版新装版)でも可、同じ内容です。																					
留意点	復習をきちんとして理解できないところを残さないようにすること。 ほぼ毎回「前回授業内容の復習テスト」を行うので、遅刻しないこと。																					

一般教育科目

科目名	教演養習 Y		担当教員	佐々木正晴																		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード G50024																		
概要	〔キーワード：アイマスク、視野制限、移動行動、操作行動、物体認知、形成過程〕 視野の全領域を遮蔽するアイマスクと視野の周辺領域を遮蔽するゴーグルをかけると、当初、つまずいて転んだり、うまく物をつかめず落としたりする。その状況を克服していく過程を明らかにする。ひとりひとりが実験者であり被験者。視野を変換する逆さめがね事態を実験圏内に据える。																					
到達目標	A. アイマスクあるいはゴーグルをかけた当初、障害状況が起こる。その障害状況を打開すること。 B. その形成過程を理論化すること。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 演習の進め方.</td> <td>10. 視野制限実験.</td> </tr> <tr> <td>2. アイマスク、ピンホール、逆さめがねを体験.</td> <td>11. 報告書発表.</td> </tr> <tr> <td>3. 公園にてブランコ、滑り台、鉄棒の実験.</td> <td>12. 報告書発表.</td> </tr> <tr> <td>4. 前年度の実験成果・報告書の読み合わせ.</td> <td>13. 再度、実験.</td> </tr> <tr> <td>5. 前年度の実験成果・報告書の読み合わせ.</td> <td>14. 報告書作成.</td> </tr> <tr> <td>6. アイマスク、ピンホール、逆さめがねを体験.</td> <td>15. 総括、成果発表(Power P.)</td> </tr> <tr> <td>7. 実験 Group 形成.</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 実験開始。視野遮蔽実験.</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 逆さめがね実験.</td> <td></td> </tr> </table>				1. 演習の進め方.	10. 視野制限実験.	2. アイマスク、ピンホール、逆さめがねを体験.	11. 報告書発表.	3. 公園にてブランコ、滑り台、鉄棒の実験.	12. 報告書発表.	4. 前年度の実験成果・報告書の読み合わせ.	13. 再度、実験.	5. 前年度の実験成果・報告書の読み合わせ.	14. 報告書作成.	6. アイマスク、ピンホール、逆さめがねを体験.	15. 総括、成果発表(Power P.)	7. 実験 Group 形成.		8. 実験開始。視野遮蔽実験.		9. 逆さめがね実験.	
1. 演習の進め方.	10. 視野制限実験.																					
2. アイマスク、ピンホール、逆さめがねを体験.	11. 報告書発表.																					
3. 公園にてブランコ、滑り台、鉄棒の実験.	12. 報告書発表.																					
4. 前年度の実験成果・報告書の読み合わせ.	13. 再度、実験.																					
5. 前年度の実験成果・報告書の読み合わせ.	14. 報告書作成.																					
6. アイマスク、ピンホール、逆さめがねを体験.	15. 総括、成果発表(Power P.)																					
7. 実験 Group 形成.																						
8. 実験開始。視野遮蔽実験.																						
9. 逆さめがね実験.																						
評価方法	出席 50 点 , レポート 50 点.																					
教材・教科書	なし.																					
留意点	アイマスクやゴーグルをかけ、構内をあちこち歩いたり、食事をしたり、部屋を整理整頓する。転んでも立ち上がること、物を落としても拾うこと。																					

一般教育科目

科目名	教養演習 Z		担当教員	佐々木正晴		
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード G50025		
概要	<p>[キーワード:アイマスク, 視野制限, 移動行動, 操作行動, 物体認知, 形成過程]</p> <p>視野の全領域を遮蔽するアイマスクと視野の周辺領域を遮蔽するゴーグルをかけると、当初、つまずいて転んだり、うまく物をつかめず落としたりする。その状況を克服していく過程を明らかにする。ひとりひとりが実験者であり被験者。教養演習 Y と方針は同じである。視野を変換する逆さめがね事態を実験圏内に据える。</p>					
到達目標	<p>A. アイマスクあるいはゴーグルをかけた当初、障害状況が起こる。その障害状況を打開すること。</p> <p>B. その形成過程を理論化すること。</p>					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前期報告書を読み合わせ。 2. ブランコ, 滑り台, 鉄棒, 実験。 3. 実験 Group 形成。新たな問題を設定。 4. 各 Group 実験開始。 5. 屋内歩行実験, 報告書 6. 屋外歩行実験, 報告書 7. 公園歩行実験, 報告書 8. 食事実験, 報告書 9. 楽器演奏実験, 報告書 </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 20px;"> <ol style="list-style-type: none"> 10. 書字実験, 報告書 11. まとめ 12. 追加実験, 報告書 13. 全体実験, 報告書 14. 総括, 成果発表 (Power P.) の準備 15. 成果発表 (Power P.) </td> </tr> </table>				<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期報告書を読み合わせ。 2. ブランコ, 滑り台, 鉄棒, 実験。 3. 実験 Group 形成。新たな問題を設定。 4. 各 Group 実験開始。 5. 屋内歩行実験, 報告書 6. 屋外歩行実験, 報告書 7. 公園歩行実験, 報告書 8. 食事実験, 報告書 9. 楽器演奏実験, 報告書 	<ol style="list-style-type: none"> 10. 書字実験, 報告書 11. まとめ 12. 追加実験, 報告書 13. 全体実験, 報告書 14. 総括, 成果発表 (Power P.) の準備 15. 成果発表 (Power P.)
<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期報告書を読み合わせ。 2. ブランコ, 滑り台, 鉄棒, 実験。 3. 実験 Group 形成。新たな問題を設定。 4. 各 Group 実験開始。 5. 屋内歩行実験, 報告書 6. 屋外歩行実験, 報告書 7. 公園歩行実験, 報告書 8. 食事実験, 報告書 9. 楽器演奏実験, 報告書 	<ol style="list-style-type: none"> 10. 書字実験, 報告書 11. まとめ 12. 追加実験, 報告書 13. 全体実験, 報告書 14. 総括, 成果発表 (Power P.) の準備 15. 成果発表 (Power P.) 					
評価方法	出席 50 点 , レポート 50 点.					
教材・教科書	なし.					
留意点	アイマスクやゴーグルをかけ、構内をあちこち歩いたり、食事をしたり、部屋を整理整頓する。転んでも立ち上がることに、物を落としても拾うこと。					

一般教育科目

科目名	キリスト教学 I			担当教員	楊 尚眞																
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	G51000																
概要	〔キーワード: キリスト教の本質、キリストの生涯〕 キリスト教の本質を学び、理解することにおいて、その研究対象は、古代・中世・近世・現代のキリスト教の歴史、聖書・信条・キリスト教思想である。この科目授業において、イエス・キリストの生涯を中心にキリスト教の本質を学ぶ。																				
到達目標	キリスト教を学び、理解することを通して、本学の建学精神である「畏神愛人」という生き方を多面的に探求する。また、キリスト教信仰と文化を幅広く理解し、人間とは何なのかを一層深く理解する態度を養い、理解する主体である「自分」を内省する視点を獲得することを目標にしている。																				
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 神の言葉である聖書</td> <td>9. キリストの体なる教会</td> </tr> <tr> <td>2. 神の子イエス・キリスト①</td> <td>10. 天国論と地獄論</td> </tr> <tr> <td>3. 神の子イエス・キリスト②</td> <td>11. 天使論と悪魔論</td> </tr> <tr> <td>4. 神の子イエス・キリスト③</td> <td>12. キリスト教人間論</td> </tr> <tr> <td>5. 神の子イエス・キリスト④</td> <td>13. キリスト教信仰</td> </tr> <tr> <td>6. キリストの神</td> <td>14. キリスト教礼拝</td> </tr> <tr> <td>7. 神の霊である聖霊</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 三位一体論</td> <td></td> </tr> </table>					1. 神の言葉である聖書	9. キリストの体なる教会	2. 神の子イエス・キリスト①	10. 天国論と地獄論	3. 神の子イエス・キリスト②	11. 天使論と悪魔論	4. 神の子イエス・キリスト③	12. キリスト教人間論	5. 神の子イエス・キリスト④	13. キリスト教信仰	6. キリストの神	14. キリスト教礼拝	7. 神の霊である聖霊	15. まとめ	8. 三位一体論	
1. 神の言葉である聖書	9. キリストの体なる教会																				
2. 神の子イエス・キリスト①	10. 天国論と地獄論																				
3. 神の子イエス・キリスト②	11. 天使論と悪魔論																				
4. 神の子イエス・キリスト③	12. キリスト教人間論																				
5. 神の子イエス・キリスト④	13. キリスト教信仰																				
6. キリストの神	14. キリスト教礼拝																				
7. 神の霊である聖霊	15. まとめ																				
8. 三位一体論																					
評価方法	1. 期末試験 (25点) 2. 講義出席(25点) 3. 礼拝出席(25点) 4. 礼拝感想文(25点)																				
教材・教科書	1. 聖書 2. キリスト教概説 (楊尚眞著)																				
留意点	1. 私語禁止、2. 遅刻禁止 3. 質問奨励																				

一般教育科目

科目名	キリスト教学 II			担当教員	楊 尚眞																		
対象学年	EJ3年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	G51001																		
概要	〔キーワード: 宗教の歴史、比較宗教〕 キリスト教の特殊性と価値を把握し、キリスト教に対する客観的な見解をもつために、そして、世界がグローバル化した今日、諸宗教間の対話と理解のため世界の諸宗教を学ぶ。																						
到達目標	宗教とは、キリスト教とは何なのか。特に、キリスト教という歴史的な宗教とは、私たちに對して何を主張しているのか。私たちのキリスト教理解・人間理解・宗教理解・人間理解・自己理解を良く吟味し、深めていくことを目標にしている。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 宗教と信仰</td> <td>10. ヒンズー教</td> </tr> <tr> <td>2. キリスト教①</td> <td>11. 仏教①</td> </tr> <tr> <td>3. キリスト教②</td> <td>12. 仏教②</td> </tr> <tr> <td>4. キリスト教③</td> <td>13. 神道①</td> </tr> <tr> <td>5. キリスト教④</td> <td>14. 神道②</td> </tr> <tr> <td>6. ユダヤ教①</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. ユダヤ教②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. イスラム教①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. イスラム教②</td> <td></td> </tr> </table>					1. 宗教と信仰	10. ヒンズー教	2. キリスト教①	11. 仏教①	3. キリスト教②	12. 仏教②	4. キリスト教③	13. 神道①	5. キリスト教④	14. 神道②	6. ユダヤ教①	15. まとめ	7. ユダヤ教②		8. イスラム教①		9. イスラム教②	
1. 宗教と信仰	10. ヒンズー教																						
2. キリスト教①	11. 仏教①																						
3. キリスト教②	12. 仏教②																						
4. キリスト教③	13. 神道①																						
5. キリスト教④	14. 神道②																						
6. ユダヤ教①	15. まとめ																						
7. ユダヤ教②																							
8. イスラム教①																							
9. イスラム教②																							
評価方法	1. 期末試験 (25点) 2. 講義出席(25点) 3. 礼拝出席(25点) 4. 礼拝感想文(25点)																						
教材・教科書	1. 聖書 2. 世界宗教概説(楊尚眞著)																						
留意点	1. 私語禁止、2. 遅刻禁止 3. 質問奨励																						

一般教育科目

科目名	哲学と倫理 A			担当教員	鎌田学
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・前期	科目コード	G52000
概要	[キーワード：哲学への誘い] 近代以降の哲学者たちが追究した諸問題を取り上げ、講義の中で再思考する。 講義中、「ワークシート」を書くことが求められる。				
到達目標	講義内容に関連した様々な問題について、自分なりに考えをまとめること。				
授業の内容	1. ガイダンス 2. 「自己の根底へ」 3. 「経験論」 4. 「モナド論」 5. 「知識への反逆」 6. 「経験論の臨界」 7. 「理性の深淵へ」 8. 「同一性と差異」 9. 「批判知の起源」 10. 「理念的な次元」 11. 「生命論の成立」 12. 「現象の地平へ」 13. 「語りえぬもの」 14. 「語りえぬもの」② 15. まとめ				
評価方法	出席 (50%)、レポートおよび期末試験(50%)				
教材・教科書	熊野純彦『西洋哲学史 近代から現代へ』(岩波新書 861 円)				
留意点					

一般教育科目

科目名	哲学と倫理 B			担当教員	鎌田学
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・後期	科目コード	G52001
概要	[キーワード：人間の生き方、現代という状況] 現代人の生き方を、広義の思想家たち (プラトン、セネカ、エピクロス、ゲーテ、ショーペンハウアー、トルストイ、ボーヴォワールなど) の言葉を手掛かりに多様な側面から考える。				
到達目標	講義内容に関連した様々な問題について、自分なりに考えをまとめること。				
授業の内容	1. ガイダンス 2. ギグスの指輪 3. 人生は長いのか、それとも短いのか? 4. 幸福論 5. 幸福論② 6. 幸福論③ 7. 厭世思想 8. 厭世思想② 9. 厭世思想③ 10. 信仰という生き方 11. 信仰という生き方② 12. 現代社会と性役割 13. 現代社会と性役割② 14. 現代社会と性役割③ 15. まとめ				
評価方法	出席 (50%)、課題および期末試験(50%)				
教材・教科書	適宜、文献を紹介する。				
留意点					

一般教育科目

科目名	法と社会 A(日本国憲法を含む)		担当教員	大野拓哉																
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード G52002																
概要	[キーワード: 憲法 基本的人権] 日本国憲法が保障する基本的人権を学ぶ。まず、人権に関する基礎理論を概観し、その後、各個別の人権について、その沿革や内容、裁判事例などをとりあげて理解を深める。																			
到達目標	日本国憲法が近代以降の立憲政治の到達点であることを踏まえ、その人権諸条項がこれまで果たしてきた役割を理解するとともに、現代的な諸問題にどのように対応していけるか(いくべきか)の理解も形成してゆきたい。																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 基本的人権の観念</td> <td>9. 幸福追求権の諸相</td> </tr> <tr> <td>2. 基本的人権思想の歴史的展開①</td> <td>10. 法の下での平等</td> </tr> <tr> <td>3. 基本的人権思想の歴史的展開②</td> <td>11. 家族生活と平等</td> </tr> <tr> <td>4. 基本的人権の享有主体</td> <td>12. 雇用関係と平等</td> </tr> <tr> <td>5. 基本的人権の私人間効力</td> <td>13. 思想および良心の自由</td> </tr> <tr> <td>6. 特別の法律関係における基本的人権</td> <td>14. 信教の自由と政教分離</td> </tr> <tr> <td>7. 基本的人権の限界と制約</td> <td>15. まとめと振り返り</td> </tr> <tr> <td>8. 個人の尊重と幸福追求権</td> <td></td> </tr> </table>				1. 基本的人権の観念	9. 幸福追求権の諸相	2. 基本的人権思想の歴史的展開①	10. 法の下での平等	3. 基本的人権思想の歴史的展開②	11. 家族生活と平等	4. 基本的人権の享有主体	12. 雇用関係と平等	5. 基本的人権の私人間効力	13. 思想および良心の自由	6. 特別の法律関係における基本的人権	14. 信教の自由と政教分離	7. 基本的人権の限界と制約	15. まとめと振り返り	8. 個人の尊重と幸福追求権	
1. 基本的人権の観念	9. 幸福追求権の諸相																			
2. 基本的人権思想の歴史的展開①	10. 法の下での平等																			
3. 基本的人権思想の歴史的展開②	11. 家族生活と平等																			
4. 基本的人権の享有主体	12. 雇用関係と平等																			
5. 基本的人権の私人間効力	13. 思想および良心の自由																			
6. 特別の法律関係における基本的人権	14. 信教の自由と政教分離																			
7. 基本的人権の限界と制約	15. まとめと振り返り																			
8. 個人の尊重と幸福追求権																				
評価方法	前期試験のみ																			
教材・教科書	特に指定しない。講義に際して適宜プリントを配布する。																			
留意点	日本国憲法の条文を随時参照できるようにしておくこと。																			

一般教育科目

科目名	法と社会 B		担当教員	大野拓哉																
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード G52003																
概要	[キーワード: 憲法 基本的人権] 日本国憲法 I に引き続いて、日本国憲法が保障する基本的人権を学ぶ。基本的人権の基礎理論については日本国憲法 I で学んでいるので、そのことを前提にして、各個別の人権に関する理解を深める。																			
到達目標	日本国憲法が近代以降の立憲政治の到達点であることを踏まえ、その人権諸条項がこれまで果たしてきた役割を理解するとともに、現代的な諸問題にどのように対応していけるか(いくべきか)の理解も形成してゆきたい。																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 学問の自由</td> <td>9. 労働基本権②</td> </tr> <tr> <td>2. 表現の自由①</td> <td>10. 経済的自由権の歴史的変遷</td> </tr> <tr> <td>3. 表現の自由②</td> <td>11. 財産権の保障と私有財産制度</td> </tr> <tr> <td>4. 自由権と社会権</td> <td>12. 職業選択の自由と「営業の自由」</td> </tr> <tr> <td>5. 生存権①</td> <td>13. 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由</td> </tr> <tr> <td>6. 生存権②</td> <td>14. 基本的人権を保障する諸制度</td> </tr> <tr> <td>7. 教育を受ける権利</td> <td>15. まとめと振り返り</td> </tr> <tr> <td>8. 労働基本権①</td> <td></td> </tr> </table>				1. 学問の自由	9. 労働基本権②	2. 表現の自由①	10. 経済的自由権の歴史的変遷	3. 表現の自由②	11. 財産権の保障と私有財産制度	4. 自由権と社会権	12. 職業選択の自由と「営業の自由」	5. 生存権①	13. 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由	6. 生存権②	14. 基本的人権を保障する諸制度	7. 教育を受ける権利	15. まとめと振り返り	8. 労働基本権①	
1. 学問の自由	9. 労働基本権②																			
2. 表現の自由①	10. 経済的自由権の歴史的変遷																			
3. 表現の自由②	11. 財産権の保障と私有財産制度																			
4. 自由権と社会権	12. 職業選択の自由と「営業の自由」																			
5. 生存権①	13. 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由																			
6. 生存権②	14. 基本的人権を保障する諸制度																			
7. 教育を受ける権利	15. まとめと振り返り																			
8. 労働基本権①																				
評価方法	後期試験のみ																			
教材・教科書	特に指定しない。講義に際して適宜プリントを配布する。																			
留意点	日本国憲法の条文を随時参照できるようにしておくこと。																			

一般教育科目

科目名	政治学A【2013年度入学生】		担当教員	西東克介		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	G52014	
概要	<p>[キーワード：政治、権力、権威、宗教、カリスマ、民主主義]</p> <p>今日、社会全体がどちらかといえば政治に無関心な状況が蔓延しています。そこで、この講義のねらいは、政治と私たちの社会がどのような関係にあるのかを受講者に理解・意識してもらうことにあります。それゆえ、本講義では、政治の制度を多く扱うよりも、それらに密接に関わる原理や傾向、あるいは考え方に力点を置いていきます。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜデモクラシー（民主主義）は悪魔にもなりうるのか ・なぜ政治や権力が人間の社会に不可欠となるのか。 ・なぜ国によって政治体制が異なるのか。 ・受講者には、以上の3点の「答え」を相応に理解してもらえればと思う。 					
授業の内容	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本講義概要・展開方法・試験等 2. 政治とは何か 3. 権力とは何か・権威とは何か 4. リーダーシップとカリスマ 5. 政治意識と政治的無関心 6. マス・メディアと政治 7. 民主主義 8. 民主制と集団主義・個人主義 9. 選挙と投票 </td> <td style="width: 50%; border: none;"> <ol style="list-style-type: none"> 10. 国際政治を理解するための基礎知識 11. パレスチナ・イスラエル問題の歴史 (1) 12. パレスチナ・イスラエル問題の歴史 (2) 13. 地方自治体の選挙制度と実態 14. 流行歌の歌詞と性・政治の変容 15. まとめ </td> </tr> </table>				<ol style="list-style-type: none"> 1. 本講義概要・展開方法・試験等 2. 政治とは何か 3. 権力とは何か・権威とは何か 4. リーダーシップとカリスマ 5. 政治意識と政治的無関心 6. マス・メディアと政治 7. 民主主義 8. 民主制と集団主義・個人主義 9. 選挙と投票 	<ol style="list-style-type: none"> 10. 国際政治を理解するための基礎知識 11. パレスチナ・イスラエル問題の歴史 (1) 12. パレスチナ・イスラエル問題の歴史 (2) 13. 地方自治体の選挙制度と実態 14. 流行歌の歌詞と性・政治の変容 15. まとめ
<ol style="list-style-type: none"> 1. 本講義概要・展開方法・試験等 2. 政治とは何か 3. 権力とは何か・権威とは何か 4. リーダーシップとカリスマ 5. 政治意識と政治的無関心 6. マス・メディアと政治 7. 民主主義 8. 民主制と集団主義・個人主義 9. 選挙と投票 	<ol style="list-style-type: none"> 10. 国際政治を理解するための基礎知識 11. パレスチナ・イスラエル問題の歴史 (1) 12. パレスチナ・イスラエル問題の歴史 (2) 13. 地方自治体の選挙制度と実態 14. 流行歌の歌詞と性・政治の変容 15. まとめ 					
評価方法	出席を前提として、レポート（1回）と試験を平均して成績を算出。					
教材・教科書	<p>教科書：伊藤光利編『ポリティカル・サイエンス事始め [第3版]』（有斐閣ブックス・1,995円）</p> <p>レポート課題図書：岡田憲治『はじめてのデモクラシー講義』（柏書房・1680円）</p>					
留意点	本講義は、文学部「政治と経済A」、社会福祉学部「政治学(前期分の範囲)」と内容は同じです。					

一般教育科目

科目名	政治と経済A		担当教員	西東克介	
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	G52004
概要	<p>「政治学A【2013年度入学生】」を参照してください。</p>				
到達目標					
授業の内容					
評価方法					
教材・教科書					
留意点					

一般教育科目

科目名	政治学 B 【2013 年度入学生】			担当教員	西東克介																		
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・後期	科目コード	G52015																		
概要	[キーワード:三権分立制、議院内閣制・大統領制、リーダーシップ、政治家の能力、黒人差別] 「政治学 B」は、「政治学 A」を基礎編とすれば、応用編ともいえる。津軽や青森の政治や行政が、どのように国と結びつき、私たちの暮らしに影響を与えているのかを「制度」から考える。同様に、アメリカが黒人差別の問題をとおして、人権問題についてのアメリカの日本への影響を考える。																						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・完全な答えはないが、未来を切り開く自分や周囲の「ミッション」と活動とは何かを考える。 ・受講者には、この「答え」をああでもない、こうでもないと考え続けてもらうことができらばと思う。 																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 本講義概要・展開方法・試験等</td> <td>10. 若い人や女性の政治への参加を考える</td> </tr> <tr> <td>2. 議院内閣制・大統領制とリーダーシップ</td> <td>11. 黒人差別の歴史と民主主義(1)</td> </tr> <tr> <td>3. 政党と我が国戦後政党史</td> <td>12. 黒人差別の歴史と民主主義(2)</td> </tr> <tr> <td>4. 圧力団体と NPO・公益法人</td> <td>13. 黒人差別とオバマ大統領</td> </tr> <tr> <td>5. 町(内)会の歴史と現状</td> <td>14. 身近な人々と経済・教育・福祉・政治の関係</td> </tr> <tr> <td>6. 弘前市議会から市町村議会を考える</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 青森県議会から都道府県議会を考える</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 「津軽選挙」とは何だったのか</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 政治家(議員・首長)の不可欠な能力</td> <td></td> </tr> </table>					1. 本講義概要・展開方法・試験等	10. 若い人や女性の政治への参加を考える	2. 議院内閣制・大統領制とリーダーシップ	11. 黒人差別の歴史と民主主義(1)	3. 政党と我が国戦後政党史	12. 黒人差別の歴史と民主主義(2)	4. 圧力団体と NPO・公益法人	13. 黒人差別とオバマ大統領	5. 町(内)会の歴史と現状	14. 身近な人々と経済・教育・福祉・政治の関係	6. 弘前市議会から市町村議会を考える	15. まとめ	7. 青森県議会から都道府県議会を考える		8. 「津軽選挙」とは何だったのか		9. 政治家(議員・首長)の不可欠な能力	
1. 本講義概要・展開方法・試験等	10. 若い人や女性の政治への参加を考える																						
2. 議院内閣制・大統領制とリーダーシップ	11. 黒人差別の歴史と民主主義(1)																						
3. 政党と我が国戦後政党史	12. 黒人差別の歴史と民主主義(2)																						
4. 圧力団体と NPO・公益法人	13. 黒人差別とオバマ大統領																						
5. 町(内)会の歴史と現状	14. 身近な人々と経済・教育・福祉・政治の関係																						
6. 弘前市議会から市町村議会を考える	15. まとめ																						
7. 青森県議会から都道府県議会を考える																							
8. 「津軽選挙」とは何だったのか																							
9. 政治家(議員・首長)の不可欠な能力																							
評価方法	出席を前提として、レポート(1回)と試験を平均して成績を算出。																						
教材・教科書	教科書:伊藤光利編『ポリティカル・サイエンス事始め [第3版]』(有斐閣ブックス・1,995円)																						
留意点	本講義は、社会福祉学部「政治学(後期分の範囲)」と内容は同じです。																						

一般教育科目

科目名	政治と経済 B			担当教員	福田進治																
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・前期	科目コード	G52005																
概要	[キーワード: 経済学入門、経済学史、経済思想] 近世以降のヨーロッパ経済の歴史と経済学の歴史を学び、著名な経済学者(アダム・スミス、リカード、マルクス、マーシャル、ケインズ)の議論を追いながら、経済学の基本的な考え方を身に付けます。																				
到達目標	経済学の基本的課題、基本的概念、基本的主張を理解することを目指します。																				
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>9. 資本主義の歴史</td> </tr> <tr> <td>2. 重商主義の時代</td> <td>10. ヴィクトリア時代</td> </tr> <tr> <td>3. 市場メカニズム</td> <td>11. 市場均衡の理論</td> </tr> <tr> <td>4. 小さな国家</td> <td>12. 大恐慌の時代</td> </tr> <tr> <td>5. 産業革命の時代</td> <td>13. 失業の原因</td> </tr> <tr> <td>6. 国際貿易の原理</td> <td>14. 福祉国家の形成</td> </tr> <tr> <td>7. 階級闘争の時代</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 資本主義の本質</td> <td></td> </tr> </table>					1. ガイダンス	9. 資本主義の歴史	2. 重商主義の時代	10. ヴィクトリア時代	3. 市場メカニズム	11. 市場均衡の理論	4. 小さな国家	12. 大恐慌の時代	5. 産業革命の時代	13. 失業の原因	6. 国際貿易の原理	14. 福祉国家の形成	7. 階級闘争の時代	15. まとめ	8. 資本主義の本質	
1. ガイダンス	9. 資本主義の歴史																				
2. 重商主義の時代	10. ヴィクトリア時代																				
3. 市場メカニズム	11. 市場均衡の理論																				
4. 小さな国家	12. 大恐慌の時代																				
5. 産業革命の時代	13. 失業の原因																				
6. 国際貿易の原理	14. 福祉国家の形成																				
7. 階級闘争の時代	15. まとめ																				
8. 資本主義の本質																					
評価方法	出席状況・受講態度(50点)と期末試験(50点)によって評価します。																				
教材・教科書	(参考書) 八木紀一郎『経済思想』(第2版)日本経済新聞出版社、2011年																				
留意点																					

一般教育科目

科目名	心と身体A		担当教員	佐々木正晴		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード G52006		
概要	<p>[キーワード:心理学史, 感覚・知覚, 欲求・行動, 脳・心, 言語・思考]</p> <p>人間行動の基礎過程である心の活動を探索する。心理学研究史を概観し、その意義、方法論を探り、次いで、看護活動や福祉活動など現場領域を視野に入れ、脳と心の関係、感覚・知覚、欲求・行動の成り立ちを探る。同時に、学習・記憶、言語・思考、情動・動機づけ、発達・学習、パーソナリティ、対人関係・社会行動など、実験論文を通して、人間行動を総合的に探索する。</p>					
到達目標	心の活動の成長・形成過程について、その命題・結論をわれわれひとり一人が見出すこと。					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1.心理学の歴史と方法 2. 心の活動のおおざっぱな定義 3. 感覚・知覚の世界：逆さに見える世界 4. 感覚・知覚の世界：初めて見る世界 5. 記憶のメカニズム：記憶術名人の苦悩 6. 言語の成立と機能：ことばをうまく話せないこどもたち 7. 欲求, 意欲, 希望：学習意欲が失われるとき 8. 欲求, 意欲, 希望：学習意欲が成り立つとき 9. 情動, 感性, 動機：気持ちが芽生える瞬間を促す出来事 </td> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 10. 発達, 学習, 操作：働きかけると機能が形成する 11. 性格・人格・行動：性格検査, 適性検査を実施し, わが身を振り返る 12. 対人関係と社会性：お金持ちになる最適戦略 13. 脳と心の関係性：大脳には心理機能の地図 14. 脳と心の関係性：脳損傷者の機能形成臨床例 15. 総括 </td> </tr> </table>				<ol style="list-style-type: none"> 1.心理学の歴史と方法 2. 心の活動のおおざっぱな定義 3. 感覚・知覚の世界：逆さに見える世界 4. 感覚・知覚の世界：初めて見る世界 5. 記憶のメカニズム：記憶術名人の苦悩 6. 言語の成立と機能：ことばをうまく話せないこどもたち 7. 欲求, 意欲, 希望：学習意欲が失われるとき 8. 欲求, 意欲, 希望：学習意欲が成り立つとき 9. 情動, 感性, 動機：気持ちが芽生える瞬間を促す出来事 	<ol style="list-style-type: none"> 10. 発達, 学習, 操作：働きかけると機能が形成する 11. 性格・人格・行動：性格検査, 適性検査を実施し, わが身を振り返る 12. 対人関係と社会性：お金持ちになる最適戦略 13. 脳と心の関係性：大脳には心理機能の地図 14. 脳と心の関係性：脳損傷者の機能形成臨床例 15. 総括
<ol style="list-style-type: none"> 1.心理学の歴史と方法 2. 心の活動のおおざっぱな定義 3. 感覚・知覚の世界：逆さに見える世界 4. 感覚・知覚の世界：初めて見る世界 5. 記憶のメカニズム：記憶術名人の苦悩 6. 言語の成立と機能：ことばをうまく話せないこどもたち 7. 欲求, 意欲, 希望：学習意欲が失われるとき 8. 欲求, 意欲, 希望：学習意欲が成り立つとき 9. 情動, 感性, 動機：気持ちが芽生える瞬間を促す出来事 	<ol style="list-style-type: none"> 10. 発達, 学習, 操作：働きかけると機能が形成する 11. 性格・人格・行動：性格検査, 適性検査を実施し, わが身を振り返る 12. 対人関係と社会性：お金持ちになる最適戦略 13. 脳と心の関係性：大脳には心理機能の地図 14. 脳と心の関係性：脳損傷者の機能形成臨床例 15. 総括 					
評価方法	出席 50 点 , レポート 50 点.					
教材・教科書	なし.					
留意点	心を込めてレポートを書くこと.					

一般教育科目

科目名	心と身体B		担当教員	佐々木正晴		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード G52007		
概要	<p>[キーワード:脳, 心, 身体, 脳損傷, 機能形成]</p> <p>心の活動という出来事を脳という物質が支えている。近年、光学技術の進展により脳内機構を探索することが可能になり、心と脳に関連性を捉えようとする研究が飛躍的に増大している。しかし、両者の関連性について十分解明されたとはいえない。本講では、近年の研究成果を見ながら、心と脳に関連性について残された課題を探る。</p>					
到達目標	脳と心に関連性について、ひとり一人がその答えを見つけること。					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 脳の構造と働き. 2. 大脳機能地図. 3. 脳と心の関係 1. 4. 脳損傷のひとたち. 5. 脳と心の関係 2. 6. Rewin の報告. 7. 脳と心の関係 3. 8. Sadato の報告. 9. 脳と心の関係 4. </td> <td style="vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 10. VTR. 11. Yagi の報告. 12. 脳と心の関係 5. 13. 行動障害状況の打開. 14. 脳と心の関係 6. 15. 総括. </td> </tr> </table>				<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳の構造と働き. 2. 大脳機能地図. 3. 脳と心の関係 1. 4. 脳損傷のひとたち. 5. 脳と心の関係 2. 6. Rewin の報告. 7. 脳と心の関係 3. 8. Sadato の報告. 9. 脳と心の関係 4. 	<ol style="list-style-type: none"> 10. VTR. 11. Yagi の報告. 12. 脳と心の関係 5. 13. 行動障害状況の打開. 14. 脳と心の関係 6. 15. 総括.
<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳の構造と働き. 2. 大脳機能地図. 3. 脳と心の関係 1. 4. 脳損傷のひとたち. 5. 脳と心の関係 2. 6. Rewin の報告. 7. 脳と心の関係 3. 8. Sadato の報告. 9. 脳と心の関係 4. 	<ol style="list-style-type: none"> 10. VTR. 11. Yagi の報告. 12. 脳と心の関係 5. 13. 行動障害状況の打開. 14. 脳と心の関係 6. 15. 総括. 					
評価方法	出席 50 点 , レポート 50 点.					
教材・教科書	なし.					
留意点	心を込めてレポートを書くこと.					

一般教育科目

科目名	教育と人間 A(教育原理)		担当教員	須川公央
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード G52008
概要	<p>〔キーワード：教育の両義性、教育空間、教育と政治〕</p> <p>本講義は、科目名にもあるように、教育を原理的に捉え直すことを目的とするものである。そもそも教育とは何であるのか、あるいは教えることと学ぶことはどういう関係にあるのか等々、我々が何気なしにこれまで受けてきた「教育」という営みを徹底解剖し、その内実を深く原理論的な観点から考えていくことにしたい。</p>			
到達目標	<p>教育の機能、目的、方法についての基本的な考えを理解し、昨今の学校教育をめぐる病理・課題について、自分なりに深く考えることができるようにする。</p>			
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 「教える」と「学ぶ」ということ：ヘレン・ケラーは何を学んだか 3. 教育の両義性：『魂の迫害者』を読む 4. 教育空間論：教育空間の基本構造とその歴史の変容 5. 教育の臨界（1）：「夜回り先生」の実践について考える 6. 教育の臨界（2）：「ぶたのPちゃんと32人の小学生」の実践から 7. 教育と政治（1）：「職員室に言論の自由を」より 8. 教育と政治（2）：「愛国心教育」について考える 9. ケアリングと教育：武蔵野東技能高等専修学校の実践から 10. 教育と階層格差：教育の再生産機能について考える 11. 学力問題とは何か 12. 教育方法論：教師はどのようにして教育を行っているのか 13. いじめ問題について考える：いじめの実態とそのメカニズム 14. 学校教育の新たなかたち：シュタイナー教育の実践から 15. これまでの振り返り 			
評価方法	<p>出席状況（25点）およびレポートの結果（75点）を総合的に勘案して評価する。なお出席回数が3分の2に満たない場合は、自動的に不可とする。</p>			
教材・教科書	<p>主にプリント資料を中心とした講義形式で授業を進める。テーマによっては、視聴覚教材（DVD）なども使用する予定である。</p>			
留意点				

一般教育科目

科目名	教育と人間 B(教育史)		担当教員	須川公央
対象学年	EJ2年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード G52009
概要	<p>〔キーワード：西洋教育史、新教育運動、子ども観の変容〕</p> <p>主に西洋教育史を中心に、古代ギリシアから現代にいたるまで、古今東西の教育思想を渉猟しつつ、先人たちが教育という営みをどのように考え、理論化していったのかを探る。</p>			
到達目標	<p>現代の学校教育を相対化する視点を養うと同時に、教育をめぐる様々な問題に対して、自分なりの考えを持つことができるようになる。</p>			
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 西洋教育思想の源流Ⅰ（ギリシア） 3. 西洋教育思想の源流Ⅱ（ギリシア） 4. キリスト教と教育Ⅰ（アウグスティヌス） 5. キリスト教と教育Ⅱ（ルターとエラスムス） 6. 近代の教育思想Ⅰ（コメニウス） 7. 近代の教育思想Ⅱ（ロック） 8. 近代の教育思想Ⅲ（ルソー） 9. 近代の教育思想Ⅳ（ペスタロッチとフレーベル） 10. 近代の教育思想Ⅴ（ヘルバルト） 11. 新教育運動とデューイ 12. 我が国における新教育運動 13. 新教育以後の教育思想Ⅰ 14. 新教育以後の教育思想Ⅱ 15. これまでの振り返り 			
評価方法	<p>出席状況（25点）および試験の結果（75点）を総合的に勘案して評価する。なお出席回数が3分の2に満たない場合は、自動的に不可とする。</p>			
教材・教科書	<p>主にプリント資料を中心とした講義形式で授業を進める。</p>			
留意点				

一般教育科目

科目名	歴史と社会 A			担当教員	森田猛
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	G52010
概要	[キーワード: 地中海世界] 古代から中世末期にいたるまでの地中海世界を、宗教=社会的に3つの領域にわけ、それぞれを文化社会史的に通観する。				
到達目標	地中海世界に対する歴史的理解を深め、さまざまな文明に固有な社会の構造について考察する。				
授業の内容	1. 地中海とは 2. 地中海世界 3. ビザンツ帝国① 4. ビザンツ帝国② 5. ビザンツ帝国③ 6. イスラム世界① 7. イスラム世界② 8. イスラム世界③ 9. 中世ヨーロッパ世界① 10. 中世ヨーロッパ世界② 11. 中世ヨーロッパ世界③ 12. 十字軍と3つの世界① 13. 十字軍と3つの世界② 14. 十字軍と3つの世界③ 15. まとめ				
評価方法	出席 20%、小課題 10%、試験 70%				
教材・教科書	教科書は使用しない。プリントを適宜配布。参考文献は教室で指示。				
留意点	とくになし。				

一般教育科目

科目名	歴史と社会 B			担当教員	森田猛
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	G52011
概要	[キーワード: ワイマル文化] ドイツ・ワイマル時代 (1918-1933年) の文化を歴史的社会的観点から、考察する。				
到達目標	ワイマル文化の検討を通して、文化と社会の関係について、歴史的理解を深める。				
授業の内容	1. ワイマル文化とは 2. ワイマル文化と現代 3. ワイマル共和国史① 4. ワイマル共和国史② 5. ワイマル文化の担い手① 6. ワイマル文化の担い手② 7. ワイマル時代における世代間闘争① 8. ワイマル時代における世代間闘争② 9. ワイマルの知識人① 10. ワイマルの知識人② 11. ワイマルの知識人③ 12. 現代文化の登場① 13. 現代文化の登場② 14. 現代文化の登場③ 15. まとめ				
評価方法	出席 20%、小課題 10%、試験 70%				
教材・教科書	教科書は使用しない。プリントを適宜配布。参考文献は教室で指示。				
留意点	とくになし。				

一般教育科目

科目名	現代の社会と文化A		担当教員	藤岡真之																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード G52012																		
概要	〔キーワード：メディア、情報社会、消費社会〕 20世紀以降の先進社会の文化や生活様式に多大な影響を与え続けている、メディアの変化、および消費社会化について学ぶ。																					
到達目標	私たちが日常的に行っているメディアの利用や消費行動の意味を、歴史のおよび社会的な文脈において理解すること。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 20世紀以降の先進国における社会変動</td> <td>10.消費社会とアイデンティティ（2）</td> </tr> <tr> <td>2.メディアとは何か？</td> <td>11.マクドナルド化する社会？</td> </tr> <tr> <td>3.メディアの歴史(1)</td> <td>12.経済成長と幸福</td> </tr> <tr> <td>4.メディアの歴史(2)</td> <td>13.消費社会と環境問題</td> </tr> <tr> <td>5.メディアとリアリティの問題</td> <td>14.南北問題とフェアトレード</td> </tr> <tr> <td>6.メディアの影響(1)</td> <td>15.まとめ</td> </tr> <tr> <td>7.メディアの影響(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8.消費社会の歴史と特徴</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9.消費社会とアイデンティティ(1)</td> <td></td> </tr> </table>				1. 20世紀以降の先進国における社会変動	10.消費社会とアイデンティティ（2）	2.メディアとは何か？	11.マクドナルド化する社会？	3.メディアの歴史(1)	12.経済成長と幸福	4.メディアの歴史(2)	13.消費社会と環境問題	5.メディアとリアリティの問題	14.南北問題とフェアトレード	6.メディアの影響(1)	15.まとめ	7.メディアの影響(2)		8.消費社会の歴史と特徴		9.消費社会とアイデンティティ(1)	
1. 20世紀以降の先進国における社会変動	10.消費社会とアイデンティティ（2）																					
2.メディアとは何か？	11.マクドナルド化する社会？																					
3.メディアの歴史(1)	12.経済成長と幸福																					
4.メディアの歴史(2)	13.消費社会と環境問題																					
5.メディアとリアリティの問題	14.南北問題とフェアトレード																					
6.メディアの影響(1)	15.まとめ																					
7.メディアの影響(2)																						
8.消費社会の歴史と特徴																						
9.消費社会とアイデンティティ(1)																						
評価方法	出席 20%、試験 80%																					
教材・教科書	使用しない																					
留意点																						

一般教育科目

科目名	現代の社会と文化B		担当教員	藤岡真之																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード G52013																		
概要	〔キーワード：社会問題、地域、家族、仕事〕 地域社会、家族、雇用問題、社会格差などの、現在の日本社会が抱える社会問題を社会学的な観点から学ぶことで、現在の私たちが置かれている場を広い視野から理解する。																					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな社会問題に関心をもつこと ・さまざまな社会問題をクリアーに、深く理解できるようになること ・社会学の知識を用いて社会現象を理解するセンスを磨くこと 																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 社会学的なもの見方(1)</td> <td>10. 人の移動と人口問題</td> </tr> <tr> <td>2. 社会学的なもの見方(2)</td> <td>11. 家族とジェンダー</td> </tr> <tr> <td>3. 経済の変化と暮らし(1)戦後社会の経済成長</td> <td>12. 社会的排除と貧困</td> </tr> <tr> <td>4. 経済の変化と暮らし(2)南北問題と環境問題</td> <td>13. 包摂と社会的排除</td> </tr> <tr> <td>5. 地域社会の変化と「地域づくり」</td> <td>14. 価値と道徳</td> </tr> <tr> <td>6. 働く人の現状と雇用システムの変化</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 若者と仕事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 格差社会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 生きがいと高齢者問題</td> <td></td> </tr> </table>				1. 社会学的なもの見方(1)	10. 人の移動と人口問題	2. 社会学的なもの見方(2)	11. 家族とジェンダー	3. 経済の変化と暮らし(1)戦後社会の経済成長	12. 社会的排除と貧困	4. 経済の変化と暮らし(2)南北問題と環境問題	13. 包摂と社会的排除	5. 地域社会の変化と「地域づくり」	14. 価値と道徳	6. 働く人の現状と雇用システムの変化	15. まとめ	7. 若者と仕事		8. 格差社会		9. 生きがいと高齢者問題	
1. 社会学的なもの見方(1)	10. 人の移動と人口問題																					
2. 社会学的なもの見方(2)	11. 家族とジェンダー																					
3. 経済の変化と暮らし(1)戦後社会の経済成長	12. 社会的排除と貧困																					
4. 経済の変化と暮らし(2)南北問題と環境問題	13. 包摂と社会的排除																					
5. 地域社会の変化と「地域づくり」	14. 価値と道徳																					
6. 働く人の現状と雇用システムの変化	15. まとめ																					
7. 若者と仕事																						
8. 格差社会																						
9. 生きがいと高齢者問題																						
評価方法	出席 20%、試験 80%																					
教材・教科書	今泉礼右編『変動期の社会学』株式会社みらい																					
留意点																						

一般教育科目

科目名	情報の科学 A (1 限目)			担当教員	坂井任																		
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・前期	科目コード	G53000																		
概要	[キーワード: パソコン、ワープロ、表計算] パソコンの基本的な操作法と代表的なアプリケーションであるワープロと表計算ソフトの使用法を学ぶ。																						
到達目標	パソコン初心者でも、文書やグラフの作成ができるようになることを目標とする。レポートの作成に困らない技能を身につける。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. パソコンの起動と日本語入力の基礎</td> <td>10. 課題第 2 回</td> </tr> <tr> <td>2. Windows とファイルの操作</td> <td>11. 電子メール(ネットセキュリティ含む)/課題第 3 回</td> </tr> <tr> <td>3. 記号と難読漢字の入力</td> <td>12. 表計算ソフトの基礎</td> </tr> <tr> <td>4. 連文節変換・段落の操作</td> <td>13. 表計算ソフトの活用</td> </tr> <tr> <td>5. 編集機能・文字の書式</td> <td>14. 課題第 4 回</td> </tr> <tr> <td>6. 文書の書式</td> <td>15. 表計算ソフトの機能</td> </tr> <tr> <td>7. 文書の保存・印刷/課題第 1 回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 表の作成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 図形の作成</td> <td></td> </tr> </table>					1. パソコンの起動と日本語入力の基礎	10. 課題第 2 回	2. Windows とファイルの操作	11. 電子メール(ネットセキュリティ含む)/課題第 3 回	3. 記号と難読漢字の入力	12. 表計算ソフトの基礎	4. 連文節変換・段落の操作	13. 表計算ソフトの活用	5. 編集機能・文字の書式	14. 課題第 4 回	6. 文書の書式	15. 表計算ソフトの機能	7. 文書の保存・印刷/課題第 1 回		8. 表の作成		9. 図形の作成	
1. パソコンの起動と日本語入力の基礎	10. 課題第 2 回																						
2. Windows とファイルの操作	11. 電子メール(ネットセキュリティ含む)/課題第 3 回																						
3. 記号と難読漢字の入力	12. 表計算ソフトの基礎																						
4. 連文節変換・段落の操作	13. 表計算ソフトの活用																						
5. 編集機能・文字の書式	14. 課題第 4 回																						
6. 文書の書式	15. 表計算ソフトの機能																						
7. 文書の保存・印刷/課題第 1 回																							
8. 表の作成																							
9. 図形の作成																							
評価方法	課題提出(55%)、出席状況(45%)																						
教材・教科書	プリント配布																						
留意点	受講する時間によって科目コードが違うので、間違えないこと。																						

一般教育科目

科目名	情報の科学 A (3 限目)			担当教員	坂井任																		
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・前期	科目コード	G53001																		
概要	[キーワード: パソコン、ワープロ、表計算] パソコンの基本的な操作法と代表的なアプリケーションであるワープロと表計算ソフトの使用法を学ぶ。																						
到達目標	パソコン初心者でも、文書やグラフの作成ができるようになることを目標とする。レポートの作成に困らない技能を身につける。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. パソコンの起動と日本語入力の基礎</td> <td>10. 課題第 2 回</td> </tr> <tr> <td>2. Windows とファイルの操作</td> <td>11. 電子メール(ネットセキュリティ含む)/課題第 3 回</td> </tr> <tr> <td>3. 記号と難読漢字の入力</td> <td>12. 表計算ソフトの基礎</td> </tr> <tr> <td>4. 連文節変換・段落の操作</td> <td>13. 表計算ソフトの活用</td> </tr> <tr> <td>5. 編集機能・文字の書式</td> <td>14. 課題第 4 回</td> </tr> <tr> <td>6. 文書の書式</td> <td>15. 表計算ソフトの機能</td> </tr> <tr> <td>7. 文書の保存・印刷/課題第 1 回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 表の作成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 図形の作成</td> <td></td> </tr> </table>					1. パソコンの起動と日本語入力の基礎	10. 課題第 2 回	2. Windows とファイルの操作	11. 電子メール(ネットセキュリティ含む)/課題第 3 回	3. 記号と難読漢字の入力	12. 表計算ソフトの基礎	4. 連文節変換・段落の操作	13. 表計算ソフトの活用	5. 編集機能・文字の書式	14. 課題第 4 回	6. 文書の書式	15. 表計算ソフトの機能	7. 文書の保存・印刷/課題第 1 回		8. 表の作成		9. 図形の作成	
1. パソコンの起動と日本語入力の基礎	10. 課題第 2 回																						
2. Windows とファイルの操作	11. 電子メール(ネットセキュリティ含む)/課題第 3 回																						
3. 記号と難読漢字の入力	12. 表計算ソフトの基礎																						
4. 連文節変換・段落の操作	13. 表計算ソフトの活用																						
5. 編集機能・文字の書式	14. 課題第 4 回																						
6. 文書の書式	15. 表計算ソフトの機能																						
7. 文書の保存・印刷/課題第 1 回																							
8. 表の作成																							
9. 図形の作成																							
評価方法	課題提出(55%)、出席状況(45%)																						
教材・教科書	プリント配布																						
留意点	受講する時間によって科目コードが違うので、間違えないこと。																						

一般教育科目

科目名	情報の科学 A (4 限目)		担当教員	坂井任																		
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・前期	科目コード G53002																		
概要	[キーワード: パソコン、ワープロ、表計算] パソコンの基本的な操作法と代表的なアプリケーションであるワープロと表計算ソフトの使用法を学ぶ。																					
到達目標	パソコン初心者でも、文書やグラフの作成ができるようになることを目標とする。レポートの作成に困らない技能を身につける。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. パソコンの起動と日本語入力の基本</td> <td>10. 課題第 2 回</td> </tr> <tr> <td>2. Windows とファイルの操作</td> <td>11. 電子メール(ネットセキュリティ含む)/課題第 3 回</td> </tr> <tr> <td>3. 記号と難読漢字の入力</td> <td>12. 表計算ソフトの基本</td> </tr> <tr> <td>4. 連文節変換・段落の操作</td> <td>13. 表計算ソフトの活用</td> </tr> <tr> <td>5. 編集機能・文字の書式</td> <td>14. 課題第 4 回</td> </tr> <tr> <td>6. 文書の書式</td> <td>15. 表計算ソフトの機能</td> </tr> <tr> <td>7. 文書の保存・印刷/課題第 1 回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 表の作成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 図形の作成</td> <td></td> </tr> </table>				1. パソコンの起動と日本語入力の基本	10. 課題第 2 回	2. Windows とファイルの操作	11. 電子メール(ネットセキュリティ含む)/課題第 3 回	3. 記号と難読漢字の入力	12. 表計算ソフトの基本	4. 連文節変換・段落の操作	13. 表計算ソフトの活用	5. 編集機能・文字の書式	14. 課題第 4 回	6. 文書の書式	15. 表計算ソフトの機能	7. 文書の保存・印刷/課題第 1 回		8. 表の作成		9. 図形の作成	
1. パソコンの起動と日本語入力の基本	10. 課題第 2 回																					
2. Windows とファイルの操作	11. 電子メール(ネットセキュリティ含む)/課題第 3 回																					
3. 記号と難読漢字の入力	12. 表計算ソフトの基本																					
4. 連文節変換・段落の操作	13. 表計算ソフトの活用																					
5. 編集機能・文字の書式	14. 課題第 4 回																					
6. 文書の書式	15. 表計算ソフトの機能																					
7. 文書の保存・印刷/課題第 1 回																						
8. 表の作成																						
9. 図形の作成																						
評価方法	課題提出(55%)、出席状況(45%)																					
教材・教科書	プリント配布																					
留意点	受講する時間によって科目コードが違うので、間違えないこと。																					

一般教育科目

科目名	情報の科学 B (3 限目)		担当教員	坂井任																		
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・後期	科目コード G53004																		
概要	[キーワード: 視聴覚教育メディア、プレゼンテーションソフト PowerPoint] プレゼンテーションソフトを使って、コンピューターによる視聴覚教材制作の実習を行い、マルチメディアの扱いにも慣れる。																					
到達目標	プレゼンテーションソフト PowerPoint を使って自力で発表資料を作成し、発表できるようにする。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>10. スライド作成作業(5)</td> </tr> <tr> <td>2. テーマ決定と資料収集</td> <td>11. スライド作成作業(6)</td> </tr> <tr> <td>3. PowerPoint の使用法 1</td> <td>12. 作品発表(1)</td> </tr> <tr> <td>4. PowerPoint の使用法 2</td> <td>13. 作品発表(2)</td> </tr> <tr> <td>5. 画像データの簡単な加工法</td> <td>14. 作品発表(3)</td> </tr> <tr> <td>6. スライド作成作業(1)</td> <td>15. レポート</td> </tr> <tr> <td>7. スライド作成作業(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. スライド作成作業(3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. スライド作成作業(4)</td> <td></td> </tr> </table>				1. ガイダンス	10. スライド作成作業(5)	2. テーマ決定と資料収集	11. スライド作成作業(6)	3. PowerPoint の使用法 1	12. 作品発表(1)	4. PowerPoint の使用法 2	13. 作品発表(2)	5. 画像データの簡単な加工法	14. 作品発表(3)	6. スライド作成作業(1)	15. レポート	7. スライド作成作業(2)		8. スライド作成作業(3)		9. スライド作成作業(4)	
1. ガイダンス	10. スライド作成作業(5)																					
2. テーマ決定と資料収集	11. スライド作成作業(6)																					
3. PowerPoint の使用法 1	12. 作品発表(1)																					
4. PowerPoint の使用法 2	13. 作品発表(2)																					
5. 画像データの簡単な加工法	14. 作品発表(3)																					
6. スライド作成作業(1)	15. レポート																					
7. スライド作成作業(2)																						
8. スライド作成作業(3)																						
9. スライド作成作業(4)																						
評価方法	出席状況(45%)、作品発表(34%)、発表アンケート(8%)、レポート(13%)																					
教材・教科書	必要に応じてプリント配布																					
留意点	定員：各コマ 40 名 (履修者の調整をすることがあるので掲示に注意) 受講する時間によって科目コードが違うので、間違えないこと。																					

一般教育科目

科目名	情報の科学 B (4 限目)		担当教員	坂井任																		
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・後期	科目コード	G53005																	
概要	〔キーワード：視聴覚教育メディア、プレゼンテーションソフト PowerPoint 〕 プレゼンテーションソフトを使って、コンピューターによる視聴覚教材制作の実習を行い、マルチメディアの扱いにも慣れる。																					
到達目標	プレゼンテーションソフト PowerPoint を使って自力で発表資料を作成し、発表できるようにする。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>10. スライド作成作業(5)</td> </tr> <tr> <td>2. テーマ決定と資料収集</td> <td>11. スライド作成作業(6)</td> </tr> <tr> <td>3. PowerPoint の使用法 1</td> <td>12. 作品発表(1)</td> </tr> <tr> <td>4. PowerPoint の使用法 2</td> <td>13. 作品発表(2)</td> </tr> <tr> <td>5. 画像データの簡単な加工法</td> <td>14. 作品発表(3)</td> </tr> <tr> <td>6. スライド作成作業(1)</td> <td>15. レポート</td> </tr> <tr> <td>7. スライド作成作業(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. スライド作成作業(3)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. スライド作成作業(4)</td> <td></td> </tr> </table>				1. ガイダンス	10. スライド作成作業(5)	2. テーマ決定と資料収集	11. スライド作成作業(6)	3. PowerPoint の使用法 1	12. 作品発表(1)	4. PowerPoint の使用法 2	13. 作品発表(2)	5. 画像データの簡単な加工法	14. 作品発表(3)	6. スライド作成作業(1)	15. レポート	7. スライド作成作業(2)		8. スライド作成作業(3)		9. スライド作成作業(4)	
1. ガイダンス	10. スライド作成作業(5)																					
2. テーマ決定と資料収集	11. スライド作成作業(6)																					
3. PowerPoint の使用法 1	12. 作品発表(1)																					
4. PowerPoint の使用法 2	13. 作品発表(2)																					
5. 画像データの簡単な加工法	14. 作品発表(3)																					
6. スライド作成作業(1)	15. レポート																					
7. スライド作成作業(2)																						
8. スライド作成作業(3)																						
9. スライド作成作業(4)																						
評価方法	出席状況(45%)、作品発表(34%)、発表アンケート(8%)、レポート(13%)																					
教材・教科書	必要に応じてプリント配布																					
留意点	定員：各コマ 40 名（履修者の調整をすることがあるので掲示に注意） 受講する時間によって科目コードが違うので、間違えないこと。																					

一般教育科目

科目名	環境の科学		担当教員	北村繁																		
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・後期	科目コード	G53006																	
概要	〔キーワード：火山、噴火、災害、自然の豊かさ、減災〕 ①火山地形 ②火山噴火と火山災害 ③火山の恵み ④火山周辺地域の減災・防災																					
到達目標	身近な環境から火山をとりあげ、噴火による災害のリスクと、火山から得られる恵みについて理解する。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 火山とは何か</td> <td>10. 火砕流（軽石流・大規模火砕流）</td> </tr> <tr> <td>2. 火山地形①</td> <td>11. 岩屑なだれと山体崩壊・津波</td> </tr> <tr> <td>3. 火山地形②</td> <td>12. 火山泥流</td> </tr> <tr> <td>4. 噴火で放出されるもの、マグマの性質</td> <td>13. 火山ガス</td> </tr> <tr> <td>5. 溶岩流とその分類</td> <td>14. 火山の恵み①</td> </tr> <tr> <td>6. 溶岩流による災害</td> <td>15. 火山の恵み②</td> </tr> <tr> <td>7. 降下火山灰とそれを生じる噴火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 降下火山灰による災害</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 火砕流（熱雲）</td> <td></td> </tr> </table>				1. 火山とは何か	10. 火砕流（軽石流・大規模火砕流）	2. 火山地形①	11. 岩屑なだれと山体崩壊・津波	3. 火山地形②	12. 火山泥流	4. 噴火で放出されるもの、マグマの性質	13. 火山ガス	5. 溶岩流とその分類	14. 火山の恵み①	6. 溶岩流による災害	15. 火山の恵み②	7. 降下火山灰とそれを生じる噴火		8. 降下火山灰による災害		9. 火砕流（熱雲）	
1. 火山とは何か	10. 火砕流（軽石流・大規模火砕流）																					
2. 火山地形①	11. 岩屑なだれと山体崩壊・津波																					
3. 火山地形②	12. 火山泥流																					
4. 噴火で放出されるもの、マグマの性質	13. 火山ガス																					
5. 溶岩流とその分類	14. 火山の恵み①																					
6. 溶岩流による災害	15. 火山の恵み②																					
7. 降下火山灰とそれを生じる噴火																						
8. 降下火山灰による災害																						
9. 火砕流（熱雲）																						
評価方法	出席状況とレポート（複数テーマから一題選択、2000 字以上）																					
教材・教科書	資料プリント配布																					
留意点	講義中、頻繁に指名して質問します。あらかじめご承知おきください。																					

一般教育科目

科目名	生命の科学 A 【2013 年度入学生】			担当教員	吉岡利忠																		
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・前期	科目コード	G53010																		
概要	〔キーワード：〕 生命の誕生、細胞、遺伝子、感染症、ノーベル賞																						
到達目標	特に人間の生命活動の基本を知り、最も新しい生命科学の進歩を把握して知識を高める。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 生命の誕生 I 細胞の形態と機能</td> <td>10. 遺伝子情報と遺伝子病</td> </tr> <tr> <td>2. 生命の誕生 II 組織の形態と機能</td> <td>11. 感染症とその対策 I</td> </tr> <tr> <td>3. 生命の誕生 III 臓器の形態と機能</td> <td>12. 感染症とその対策 II</td> </tr> <tr> <td>4. 生体のしくみ I</td> <td>13. AIDS、HIV</td> </tr> <tr> <td>5. 生体のしくみ II</td> <td>14. ノーベル賞の陰と陽 (1)</td> </tr> <tr> <td>6. 健康の概念</td> <td>15. ノーベル賞の陰と陽 (2)</td> </tr> <tr> <td>7. 体力と健康 I</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 体力と健康 II</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 最新分析装置</td> <td></td> </tr> </table>					1. 生命の誕生 I 細胞の形態と機能	10. 遺伝子情報と遺伝子病	2. 生命の誕生 II 組織の形態と機能	11. 感染症とその対策 I	3. 生命の誕生 III 臓器の形態と機能	12. 感染症とその対策 II	4. 生体のしくみ I	13. AIDS、HIV	5. 生体のしくみ II	14. ノーベル賞の陰と陽 (1)	6. 健康の概念	15. ノーベル賞の陰と陽 (2)	7. 体力と健康 I		8. 体力と健康 II		9. 最新分析装置	
1. 生命の誕生 I 細胞の形態と機能	10. 遺伝子情報と遺伝子病																						
2. 生命の誕生 II 組織の形態と機能	11. 感染症とその対策 I																						
3. 生命の誕生 III 臓器の形態と機能	12. 感染症とその対策 II																						
4. 生体のしくみ I	13. AIDS、HIV																						
5. 生体のしくみ II	14. ノーベル賞の陰と陽 (1)																						
6. 健康の概念	15. ノーベル賞の陰と陽 (2)																						
7. 体力と健康 I																							
8. 体力と健康 II																							
9. 最新分析装置																							
評価方法	出席点 50 点、レポート 50 点																						
教材・教科書	講義時に必要なプリントを配布します。																						
留意点																							

一般教育科目

科目名	生命の科学			担当教員	吉岡利忠
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・前期	科目コード	G53007
概要	「生命の科学 A 【2013 年度入学生】」を参照してください。				
到達目標					
授業の内容					
評価方法					
教材・教科書					
留意点					

一般教育科目

科目名	生命の科学 B【2013 年度入学生】		担当教員	村上 修																		
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・前期	科目コード G53011																		
概要	生命とは何か、生命の基本的物質であるタンパク質の機能やそれらによって形成される細胞とは何かから始まって、遺伝子とそれをめぐるメカニズム、さらには、ホルモン、癌、免疫など、看護の最も基礎となる生命と人間について学び、合わせて最近の生命工学を通してこれからの生命科学を考える。																					
到達目標	21 世紀はライフサイエンスの世紀といわれ、マスメディアからはライフサイエンスと密接に関連する多くの情報が発せられている。本講義はこれらを理解するための基礎的素養を養うことを目標とする。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 自然界におけるエネルギーの流れ、物質循環</td> <td>10. 遺伝子工学</td> </tr> <tr> <td>2. 地球温暖化</td> <td>11. 発生学</td> </tr> <tr> <td>3. 生命の構成要素</td> <td>12. 胎生幹細胞とクローン</td> </tr> <tr> <td>4. 細胞の機能と構造</td> <td>13. 培養細胞の生物学 (エイジング)</td> </tr> <tr> <td>5. 細胞内呼吸</td> <td>14. 正常細胞と悪性細胞</td> </tr> <tr> <td>6. ATPの働き</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. メンデル遺伝学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 遺伝子の実体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 遺伝子の働き</td> <td></td> </tr> </table>				1. 自然界におけるエネルギーの流れ、物質循環	10. 遺伝子工学	2. 地球温暖化	11. 発生学	3. 生命の構成要素	12. 胎生幹細胞とクローン	4. 細胞の機能と構造	13. 培養細胞の生物学 (エイジング)	5. 細胞内呼吸	14. 正常細胞と悪性細胞	6. ATPの働き	15. まとめ	7. メンデル遺伝学		8. 遺伝子の実体		9. 遺伝子の働き	
1. 自然界におけるエネルギーの流れ、物質循環	10. 遺伝子工学																					
2. 地球温暖化	11. 発生学																					
3. 生命の構成要素	12. 胎生幹細胞とクローン																					
4. 細胞の機能と構造	13. 培養細胞の生物学 (エイジング)																					
5. 細胞内呼吸	14. 正常細胞と悪性細胞																					
6. ATPの働き	15. まとめ																					
7. メンデル遺伝学																						
8. 遺伝子の実体																						
9. 遺伝子の働き																						
評価方法	レポートと期末テストにより評価する。																					
教材・教科書	講義資料を配布する。																					
留意点	講義およびライフサイエンスに関する質問を歓迎する。																					

一般教育科目

科目名	科学と現代 A		担当教員	坂井任																		
対象学年	EJ1 年	単位数・開講学期	2 単位・前期	科目コード G53008																		
概要	[キーワード 物理学] 本講義では、身の回りのもの・現象や新聞・ニュースの科学用語などに題材を取って、科学がどのように役立っているかを実感してもらうことを目標とする。																					
到達目標	身近な自然現象、身の周りのハイテク製品、社会を支える科学技術がどのような原理に基づいているのかを学ぶ。また、現代物理の自然観を学ぶ。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 物理学の構成</td> <td>10. 原子核と放射線</td> </tr> <tr> <td>2. 単位と次元</td> <td>11. 核分裂・核融合</td> </tr> <tr> <td>3. 力学の法則</td> <td>12. 放射線と医療</td> </tr> <tr> <td>4. 円運動と遠心力</td> <td>13. 宇宙進化と元素の起源</td> </tr> <tr> <td>5. エネルギー</td> <td>14. 時計</td> </tr> <tr> <td>6. 振動現象</td> <td>15. 理解度判定</td> </tr> <tr> <td>7. 波と電磁波</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 熱と温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 相転移</td> <td></td> </tr> </table>				1. 物理学の構成	10. 原子核と放射線	2. 単位と次元	11. 核分裂・核融合	3. 力学の法則	12. 放射線と医療	4. 円運動と遠心力	13. 宇宙進化と元素の起源	5. エネルギー	14. 時計	6. 振動現象	15. 理解度判定	7. 波と電磁波		8. 熱と温度		9. 相転移	
1. 物理学の構成	10. 原子核と放射線																					
2. 単位と次元	11. 核分裂・核融合																					
3. 力学の法則	12. 放射線と医療																					
4. 円運動と遠心力	13. 宇宙進化と元素の起源																					
5. エネルギー	14. 時計																					
6. 振動現象	15. 理解度判定																					
7. 波と電磁波																						
8. 熱と温度																						
9. 相転移																						
評価方法	試験(70%)、出席状況(30%)																					
教材・教科書	必要に応じてプリント配布																					
留意点																						

一般教育科目

科目名	科学と現代B			担当教員	坂井任																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード	G53009																		
概要	[キーワード 確率・統計] 数学の言葉と技法は、自然現象から経済・社会などの人間活動まで、様々な事象を記述し解析するのに役立っている。計算技術よりも考え方に重点を置いて解説する。																						
到達目標	確率・統計の基本的な概念を理解し、考え方を身につける。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 確率の基礎</td> <td>10. 推定と検定(3)</td> </tr> <tr> <td>2. 確率的推論(1)</td> <td>11. 推定と検定(4)</td> </tr> <tr> <td>3. 確率的推論(2)</td> <td>12. 推定と検定(5)</td> </tr> <tr> <td>4. 統計学の考え方</td> <td>13. 推定と検定(6)</td> </tr> <tr> <td>5. 代表値と散布度</td> <td>14. 推定と検定(7)</td> </tr> <tr> <td>6. 正規分布</td> <td>15. 理解度判定</td> </tr> <tr> <td>7. 相関と回帰分析</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 推定と検定(1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 推定と検定(2)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 確率の基礎	10. 推定と検定(3)	2. 確率的推論(1)	11. 推定と検定(4)	3. 確率的推論(2)	12. 推定と検定(5)	4. 統計学の考え方	13. 推定と検定(6)	5. 代表値と散布度	14. 推定と検定(7)	6. 正規分布	15. 理解度判定	7. 相関と回帰分析		8. 推定と検定(1)		9. 推定と検定(2)	
1. 確率の基礎	10. 推定と検定(3)																						
2. 確率的推論(1)	11. 推定と検定(4)																						
3. 確率的推論(2)	12. 推定と検定(5)																						
4. 統計学の考え方	13. 推定と検定(6)																						
5. 代表値と散布度	14. 推定と検定(7)																						
6. 正規分布	15. 理解度判定																						
7. 相関と回帰分析																							
8. 推定と検定(1)																							
9. 推定と検定(2)																							
評価方法	試験(70%)、出席状況(30%)																						
教材・教科書	必要に応じてプリント配布																						
留意点																							

一般教育科目

科目名	科学と現代C【2013年度入学生】			担当教員	北村繁																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード	G53012																		
概要	[キーワード：地形学・地形図・土石流・洪水・地震・噴火] ①地形に関する資料の読み方（地形図・空中写真など） ②水の流が生み出す地形 ③地震を生じさせる活動が生み出す地形 ④火山地形																						
到達目標	日本にみられる身近な地形とそうした地形を形成する自然現象についての理解を深める。																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 地形図の読み方①（標高）</td> <td>10. 断層と広域応力場</td> </tr> <tr> <td>2. 地形図の読み方②（地形断面図）</td> <td>11. 世界の地形と地質</td> </tr> <tr> <td>3. 地形図の読み方③（尾根と谷）</td> <td>12. プレート理論</td> </tr> <tr> <td>4. 空中写真地図の利用</td> <td>13. 火山とは何か</td> </tr> <tr> <td>5. 地形輪廻、山地の地形、扇状地</td> <td>14. 火山とプレート理論</td> </tr> <tr> <td>6. 自然堤防、氾濫原、デルタ、ベンチ</td> <td>15. 地形の年齢のはかり方</td> </tr> <tr> <td>7. 段丘と気候変動</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 段丘と地盤隆起</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 地震断層、活断層と地形</td> <td></td> </tr> </table>					1. 地形図の読み方①（標高）	10. 断層と広域応力場	2. 地形図の読み方②（地形断面図）	11. 世界の地形と地質	3. 地形図の読み方③（尾根と谷）	12. プレート理論	4. 空中写真地図の利用	13. 火山とは何か	5. 地形輪廻、山地の地形、扇状地	14. 火山とプレート理論	6. 自然堤防、氾濫原、デルタ、ベンチ	15. 地形の年齢のはかり方	7. 段丘と気候変動		8. 段丘と地盤隆起		9. 地震断層、活断層と地形	
1. 地形図の読み方①（標高）	10. 断層と広域応力場																						
2. 地形図の読み方②（地形断面図）	11. 世界の地形と地質																						
3. 地形図の読み方③（尾根と谷）	12. プレート理論																						
4. 空中写真地図の利用	13. 火山とは何か																						
5. 地形輪廻、山地の地形、扇状地	14. 火山とプレート理論																						
6. 自然堤防、氾濫原、デルタ、ベンチ	15. 地形の年齢のはかり方																						
7. 段丘と気候変動																							
8. 段丘と地盤隆起																							
9. 地震断層、活断層と地形																							
評価方法	出席状況とレポート（2回を予定）																						
教材・教科書	資料プリント配布																						
留意点	12色程度の色鉛筆と地形図の購入（1枚300円前後）が必要。 講義中、頻繁に指名して質問します。あらかじめご承知おきください。																						

一般教育科目

科目名	科学と現代D【2013年度入学生】		担当教員	長南 幸安																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード G53013																		
概要	人間の生命を理解する能力を身に付けるため、例えばアミノ酸やタンパク質、糖類などの構造や機能を化学的に理解できるようになるために、原子と分子、分子が持っている基本的な概念を学習し、化学の基礎的な法則や原理を習得する。																					
到達目標	生命科学の現象や仕組みを化学的考え方や方法によって理解できるようになるために、無機化学・物理化学・有機化学の基本を習得することを目的とします。到達目標は、生命現象を化学的な視点から十分に理解でき説明できるような、基本的な化学の素養を獲得することです。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 化学の基本事項</td> <td>10. 化石資源の化学</td> </tr> <tr> <td>2. 酸性・塩基性の化学</td> <td>11. 身近な材料の化学</td> </tr> <tr> <td>3. 衣服の化学</td> <td>12. 電池の化学</td> </tr> <tr> <td>4. 洗濯の化学</td> <td>13. 電気製品の化学</td> </tr> <tr> <td>5. 水の化学</td> <td>14. 固・液・気の化学</td> </tr> <tr> <td>6. プラスチックの化学</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 料理の化学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. コロイドの化学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 薬の化学</td> <td></td> </tr> </table>				1. 化学の基本事項	10. 化石資源の化学	2. 酸性・塩基性の化学	11. 身近な材料の化学	3. 衣服の化学	12. 電池の化学	4. 洗濯の化学	13. 電気製品の化学	5. 水の化学	14. 固・液・気の化学	6. プラスチックの化学	15. まとめ	7. 料理の化学		8. コロイドの化学		9. 薬の化学	
1. 化学の基本事項	10. 化石資源の化学																					
2. 酸性・塩基性の化学	11. 身近な材料の化学																					
3. 衣服の化学	12. 電池の化学																					
4. 洗濯の化学	13. 電気製品の化学																					
5. 水の化学	14. 固・液・気の化学																					
6. プラスチックの化学	15. まとめ																					
7. 料理の化学																						
8. コロイドの化学																						
9. 薬の化学																						
評価方法	出席状況(20%)+期末試験(80%)とし、総合的に判断し評価します。																					
教材・教科書	「身の回りから見た化学の基礎」芝原寛泰・後藤景子 共著 化学同人																					
留意点	毎回の出席を原則とします。 高校で「化学」未履者向けのテキストを使用しますので、未履修者の受講も可能です。																					

一般教育科目

科目名	地域研究A		担当教員	笹森 建英																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード G54000																		
概要	<p>〔キーワード： 〕</p> <p>「地域」の概念、地域研究の作法。慣習、民俗、家風、年中行事・民俗芸能。社会規範、偏見、隔離、タブー、村八分。人種、民俗、コミュニティー。風土論、地域主義。文化政策。</p>																					
到達目標	地域研究の方法を把握する。自ら選択した地域に関する論文を作成する。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 授業全般に関するガイダンス</td> <td>10. 社会規範、偏見、隔離、タブー</td> </tr> <tr> <td>2. 「地域」の概念。各自が研究テーマを設定する。</td> <td>11. 研究の口頭発表、ディスカッション</td> </tr> <tr> <td>3. 「地域」の概念。テーマについて討論。</td> <td>12. 風土論</td> </tr> <tr> <td>4. 「地域」の研究手法。(各自が定めた研究を以後、継続して行う)</td> <td>13. 地域主義。文化政策。</td> </tr> <tr> <td>5. 地域研究に関する上記のキーワードを配布資料によって学ぶ。</td> <td>14. レポート提出</td> </tr> <tr> <td>6. 地域研究の方法。</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 慣習、民俗、家風(1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 慣習、民俗、家風(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 年中行事・民俗芸能</td> <td></td> </tr> </table>				1. 授業全般に関するガイダンス	10. 社会規範、偏見、隔離、タブー	2. 「地域」の概念。各自が研究テーマを設定する。	11. 研究の口頭発表、ディスカッション	3. 「地域」の概念。テーマについて討論。	12. 風土論	4. 「地域」の研究手法。(各自が定めた研究を以後、継続して行う)	13. 地域主義。文化政策。	5. 地域研究に関する上記のキーワードを配布資料によって学ぶ。	14. レポート提出	6. 地域研究の方法。	15. まとめ	7. 慣習、民俗、家風(1)		8. 慣習、民俗、家風(2)		9. 年中行事・民俗芸能	
1. 授業全般に関するガイダンス	10. 社会規範、偏見、隔離、タブー																					
2. 「地域」の概念。各自が研究テーマを設定する。	11. 研究の口頭発表、ディスカッション																					
3. 「地域」の概念。テーマについて討論。	12. 風土論																					
4. 「地域」の研究手法。(各自が定めた研究を以後、継続して行う)	13. 地域主義。文化政策。																					
5. 地域研究に関する上記のキーワードを配布資料によって学ぶ。	14. レポート提出																					
6. 地域研究の方法。	15. まとめ																					
7. 慣習、民俗、家風(1)																						
8. 慣習、民俗、家風(2)																						
9. 年中行事・民俗芸能																						
評価方法	出席回数 15%、適時に行うテストによる評価 5%、レポート 60%、最終試験 20%																					
教材・教科書	資料は配布する。																					
留意点	出席。研究テーマを定める。																					

一般教育科目

科目名	地域研究B		担当教員	吉岡・井上・今村 工藤(千)・葛西・高橋
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード G54001
概要	[キーワード： 方言主流社会、生活者、共生] オムニバス形式で行う。本学において唯一、三つの学部の教員が共同体制で行う講義である。青森県津軽地域のような「方言主流社会」において、「方言ネイティブ」と他地域出身者（非ネイティブ）が、生活の現場においてどのように共生していけるかを考える。また「ことば」の違いを手がかりとして高齢者と若者との間の違いを理解する。			
到達目標	方言主流社会における生活者を、どのように支援して行くか、そのための理論と方法を学び、実践に応用できるレベルに達することを目標とする。			
授業の内容	《日程・内容は変更することがあります。》 1. 導入および総論 2. (言語1) 今村 1. 方言概説 3. (言語2) 今村 2. 津軽方言概説 4. (言語3) 今村 3. 「先行研究から」 5. (言語4) 今村 4. 「津軽の問題」 6. (言語5) 今村 5 「保健医療福祉と方言-コミュニケーションツールとして-」 7. (言語6) 今村 6 「保健医療福祉と方言-よりよく生きるために-」 8. (社会福祉1) 葛西 「方言と暮らし1」 9. (社会福祉2) 高橋 「方言と暮らし2」 10. (医療・看護1) 工藤 「方言の理解から始まる生活支援」 11. (医療・看護2) 吉岡 「津軽弁、南部弁の中の病気と症状」 12. (文学1) 井上 「津軽弁の考え方-1；沈黙-葛西善蔵・太宰治」 13. (文学2) 井上 「津軽弁の考え方-2；饒舌-寺山修司・ナンシー関」 14. (文学3) 井上 「津軽弁の考え方3；記憶-川上健一」 15. 総括および講義評価 (今村)			
評価方法	担当教員ごとに試験またはレポートまたは出席により評価し、回数に比例して重み付けしたうえで合算する。			
教材・教科書	初回の講義時、また各教員の担当時にそれぞれ指示する。			
留意点				

一般教育科目

科目名	地域研究C		担当教員	北原かな子
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・後期	科目コード G54002
概要	[キーワード： 文明開化、地域、洋学、近代化] 津軽地方は近代国家成立過程において、国内でも独特の西洋文化受容を展開した土地柄である。本講義では、地域を研究するということの重要性及び、文明開化期から大正期にかけての東北や津軽の文化に関する歴史的展開について、東奥義塾や弘前女学校などの教育機関の役割を中心として学ぶ。			
到達目標	主として歴史的視点から見た津軽地方の文化について、その多様性及び受容形態の独自性を理解できるようになる。			
授業の内容	1. ガイダンス 2. リンゴ伝説の誕生 3. 地域研究と東北論 4. 明治維新と青森県の成立 5. 津軽の近代化と国際交流1 6. 津軽の近代化と国際交流2 7. 津軽の近代化と国際交流3 8. 近代津軽の女性たち1 9. 近代津軽の女性たち2 10. 近代津軽の女性たち2 11. 津軽の近代化と伝統産業 12. 地方主義と津軽の文学 13. 津軽三味線とイタコ 14. まとめ 15. ディスカッション			
評価方法	出席状況(70%)と試験(30%)。特に出席は重視する。			
教材・教科書	プリント配布			
留意点				

外国語科目

科目名	英語 I A(a)		担当教員	アルヴァル・ヒューゴソン
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード G55000
概要	[キーワード: Everyday English] The first semester will cover situations in a basic setting, focusing on all four skills, reading, writing, listening and conversation.			
到達目標	To teach students basic-level English for everyday use. Activities will give students the vocabulary and grammar skills for basic communication in English.			
授業の内容	1. Introduction 2. Hello everybody! 3. Meeting people 4. The world of work 5. Take it easy! 6. Where do you live? 7. Can you speak English? 8. Hometown Introductions (Mid-term) 9. Then and now 10. A date to remember 11. Food you like! 12. Looking good! 13. Life's an adventure! 14. Have you ever? 15. Review and Course Evaluation			
評価方法	Attendance, Participation, Homework: 50%; Mid-term and Final Test 50%			
教材・教科書	<i>American Headway Level 1 Student Book w/ MultiROM</i> (ISBN: 978-0-19-472945-1) and <i>American Headway Level 1 Workbook</i> (ISBN: 978-0-19-472951-2)			
留意点	Students should be prepared to communicate in English and active participation is expected.			

外国語科目

科目名	英語 I A(b)		担当教員	アルヴァル・ヒューゴソン
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード G55002
概要	[キーワード: Everyday English] The first semester will cover situations in a basic setting, focusing on all four skills, reading, writing, listening and conversation.			
到達目標	To teach students basic-level English for everyday use. Activities will give students the vocabulary and grammar skills for basic communication in English.			
授業の内容	1. Introduction 2. Hello everybody! 3. Meeting people 4. The world of work 5. Take it easy! 6. Where do you live? 7. Can you speak English? 8. Hometown Introductions (Mid-term) 9. Then and now 10. A date to remember 11. Food you like! 12. Looking good! 13. Life's an adventure! 14. Have you ever? 15. Review and Course Evaluation			
評価方法	Attendance, Participation, Homework: 50%; Mid-term and Final Test 50%			
教材・教科書	<i>American Headway Level 1 Student Book w/ MultiROM</i> (ISBN: 978-0-19-472945-1) and <i>American Headway Level 1 Workbook</i> (ISBN: 978-0-19-472951-2)			
留意点	Students should be prepared to communicate in English and active participation is expected.			

外国語科目

科目名	英語 I B(c)		担当教員	渡邊教一																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード G55006																		
概要	[キーワード: 予習が大切] 英文の読解力と英作力の養成																					
到達目標	テキストの内容を読み味わい、読解力と英作力を培っていく。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>10. Unit16 The car is king(1)</td> </tr> <tr> <td>2. Unit13 The secret of success(1)</td> <td>11. Unit16 The car is king(2)</td> </tr> <tr> <td>3. Unit13 The secret of success(2)</td> <td>12. Unit16 The car is king(3)</td> </tr> <tr> <td>4. Unit13 The secret of success(3)</td> <td>13. Unit17 Incredible journeys(1)</td> </tr> <tr> <td>5. Unit14 So you want to be famous(1)</td> <td>14. Unit17 Incredible journeys(2)</td> </tr> <tr> <td>6. Unit14 So you want to be famous(2)</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. Unit15 Is money the answer?(1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. Unit15 Is money the answer?(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. Unit15 Is money the answer?(3)</td> <td></td> </tr> </table>				1. オリエンテーション	10. Unit16 The car is king(1)	2. Unit13 The secret of success(1)	11. Unit16 The car is king(2)	3. Unit13 The secret of success(2)	12. Unit16 The car is king(3)	4. Unit13 The secret of success(3)	13. Unit17 Incredible journeys(1)	5. Unit14 So you want to be famous(1)	14. Unit17 Incredible journeys(2)	6. Unit14 So you want to be famous(2)	15. まとめ	7. Unit15 Is money the answer?(1)		8. Unit15 Is money the answer?(2)		9. Unit15 Is money the answer?(3)	
1. オリエンテーション	10. Unit16 The car is king(1)																					
2. Unit13 The secret of success(1)	11. Unit16 The car is king(2)																					
3. Unit13 The secret of success(2)	12. Unit16 The car is king(3)																					
4. Unit13 The secret of success(3)	13. Unit17 Incredible journeys(1)																					
5. Unit14 So you want to be famous(1)	14. Unit17 Incredible journeys(2)																					
6. Unit14 So you want to be famous(2)	15. まとめ																					
7. Unit15 Is money the answer?(1)																						
8. Unit15 Is money the answer?(2)																						
9. Unit15 Is money the answer?(3)																						
評価方法	出席状況(10点)とテスト(90点)																					
教材・教科書	<u>Reading keys</u> Bronze Book B(マクミラン ランゲージハウス)																					
留意点	欠席回数に注意																					

外国語科目

科目名	英語 I B(d)		担当教員	渡邊教一																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード G55008																		
概要	[キーワード: 予習が大切] 英文の読解力と英作力の養成																					
到達目標	テキストの中味を味わい、読解力と英作力を培っていく。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>10. Unit 4 Work around the world</td> </tr> <tr> <td>2. Unit 1 The beautiful game</td> <td>11. Unit 4 Work around the world</td> </tr> <tr> <td>3. Unit 1 The beautiful game</td> <td>12. Unit 5 A job at any price?</td> </tr> <tr> <td>4. Unit 1 The beautiful game</td> <td>13. Unit 5 A job at any price?</td> </tr> <tr> <td>5. Unit 2 The science of sports</td> <td>14. Unit 5 A job at any price?</td> </tr> <tr> <td>6. Unit 2 The science of sports</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. Unit 2 The science of sports</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. Unit 3 Sports for everyone</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. Unit 3 Sports for everyone</td> <td></td> </tr> </table>				1. オリエンテーション	10. Unit 4 Work around the world	2. Unit 1 The beautiful game	11. Unit 4 Work around the world	3. Unit 1 The beautiful game	12. Unit 5 A job at any price?	4. Unit 1 The beautiful game	13. Unit 5 A job at any price?	5. Unit 2 The science of sports	14. Unit 5 A job at any price?	6. Unit 2 The science of sports	15. まとめ	7. Unit 2 The science of sports		8. Unit 3 Sports for everyone		9. Unit 3 Sports for everyone	
1. オリエンテーション	10. Unit 4 Work around the world																					
2. Unit 1 The beautiful game	11. Unit 4 Work around the world																					
3. Unit 1 The beautiful game	12. Unit 5 A job at any price?																					
4. Unit 1 The beautiful game	13. Unit 5 A job at any price?																					
5. Unit 2 The science of sports	14. Unit 5 A job at any price?																					
6. Unit 2 The science of sports	15. まとめ																					
7. Unit 2 The science of sports																						
8. Unit 3 Sports for everyone																						
9. Unit 3 Sports for everyone																						
評価方法	出席状況(10点)とテスト(90点)																					
教材・教科書	<u>Reading Keys Bronze Book A</u> (マクミラン ランゲージ ハウス)																					
留意点	欠席回数に注意すること。																					

外国語科目

科目名	英語 I C(a)		担当教員	アルヴァル・ヒューゴソン
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード G55001
概要	[キーワード: Everyday English] The second semester will cover situations in a basic setting expanding the skills (reading, writing, listening and conversation) developed in the first semester.			
到達目標	To teach students basic-level English for everyday use. Activities will give students the vocabulary and grammar skills for basic communication in English.			
授業の内容	1. Introduction 2. Getting to know you 3. The way we live 4. What happened next? 5. The marketplace 6. What do you want to do? 7. Student Presentations (Mid-term) 8. Places and things 9. Fame! 10. Dos and don'ts 11. Going places 12. Things that changed the world 13. What if...? 14. Trying your best 15. Review and Course Evaluation			
評価方法	Attendance, Participation, Homework: 50%; Mid-term and Final Test 50%			
教材・教科書	<i>American Headway Level 2 Student Book w/ MultiROM</i> (ISBN: 978-0-19-472964-2) and <i>American Headway Level 2 Workbook</i> (ISBN: 978-0-19-472785-3)			
留意点	Students should be prepared to communicate in English and active participation is expected.			

外国語科目

科目名	英語 I C(b)		担当教員	アルヴァル・ヒューゴソン
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード G55003
概要	[キーワード: Everyday English] The second semester will cover situations in a basic setting expanding the skills (reading, writing, listening and conversation) developed in the first semester.			
到達目標	To teach students basic-level English for everyday use. Activities will give students the vocabulary and grammar skills for basic communication in English.			
授業の内容	1. Introduction 2. Getting to know you 3. The way we live 4. What happened next? 5. The marketplace 6. What do you want to do? 7. Student Presentations (Mid-term) 8. Places and things 9. Fame! 10. Dos and don'ts 11. Going places 12. Things that changed the world 13. What if...? 14. Trying your best 15. Review and Course Evaluation			
評価方法	Attendance, Participation, Homework: 50%; Mid-term and Final Test 50%			
教材・教科書	<i>American Headway Level 2 Student Book w/ MultiROM</i> (ISBN: 978-0-19-472964-2) and <i>American Headway Level 2 Workbook</i> (ISBN: 978-0-19-472785-3)			
留意点	Students should be prepared to communicate in English and active participation is expected.			

外国語科目

科目名	英語 I D(c)		担当教員	渡邊教一																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード G55007																		
概要	[キーワード: 予習が大切] 英文の読解力と英作力の養成																					
到達目標	テキストの内容を読み味わい、読解力と文法力と英作力を培っていく。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>10. Unit23 Changing lifestyles(1)</td> </tr> <tr> <td>2. Unit19 We do things differently(1)</td> <td>11. Unit23 Changing lifestyles (2)</td> </tr> <tr> <td>3. Unit19 We do things differently (2)</td> <td>12. Unit23 Changing lifestyles (3)</td> </tr> <tr> <td>4. Unit20 The language puzzle(1)</td> <td>13. Unit24 Fighting the future (1)</td> </tr> <tr> <td>5. Unit20 The language puzzle(2)</td> <td>14. Unit24 Fighting the future(2)</td> </tr> <tr> <td>6. Unit20 The language puzzle(3)</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. Unit22 No place like home(1)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. Unit22 No place like home (2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. Unit22 No place like home (3)</td> <td></td> </tr> </table>				1. オリエンテーション	10. Unit23 Changing lifestyles(1)	2. Unit19 We do things differently(1)	11. Unit23 Changing lifestyles (2)	3. Unit19 We do things differently (2)	12. Unit23 Changing lifestyles (3)	4. Unit20 The language puzzle(1)	13. Unit24 Fighting the future (1)	5. Unit20 The language puzzle(2)	14. Unit24 Fighting the future(2)	6. Unit20 The language puzzle(3)	15. まとめ	7. Unit22 No place like home(1)		8. Unit22 No place like home (2)		9. Unit22 No place like home (3)	
1. オリエンテーション	10. Unit23 Changing lifestyles(1)																					
2. Unit19 We do things differently(1)	11. Unit23 Changing lifestyles (2)																					
3. Unit19 We do things differently (2)	12. Unit23 Changing lifestyles (3)																					
4. Unit20 The language puzzle(1)	13. Unit24 Fighting the future (1)																					
5. Unit20 The language puzzle(2)	14. Unit24 Fighting the future(2)																					
6. Unit20 The language puzzle(3)	15. まとめ																					
7. Unit22 No place like home(1)																						
8. Unit22 No place like home (2)																						
9. Unit22 No place like home (3)																						
評価方法	出席状況(10点)とテスト(90点)																					
教材・教科書	<u>Reading keys</u> Bronze Book B (マクミラン ランゲージハウス)																					
留意点	欠席回数に注意																					

外国語科目

科目名	英語 I D(d)		担当教員	渡邊 教一																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード G55009																		
概要	[キーワード: 予習が大切] 英文の読解力と英作力と文法力の養成																					
到達目標	テキストの内容を味わい、読解力と英作力と基本的文法力を培っていく。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>10. Unit10 Childhood memories</td> </tr> <tr> <td>2. Unit6 Unusual occupations</td> <td>11. Unit10 Childhood memories</td> </tr> <tr> <td>3. Unit6 Unusual occupations</td> <td>12. Unit10 Childhood memories</td> </tr> <tr> <td>4. Unit7 Life on death row</td> <td>13. Unit12 Gifted children</td> </tr> <tr> <td>5. Unit7 Life on death row</td> <td>14. Unit12 Gifted children</td> </tr> <tr> <td>6. Unit7 Life on death row</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. Unit8 Crazy criminals</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. Unit8 Crazy criminals</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. Unit8 Crazy criminals</td> <td></td> </tr> </table>				1. オリエンテーション	10. Unit10 Childhood memories	2. Unit6 Unusual occupations	11. Unit10 Childhood memories	3. Unit6 Unusual occupations	12. Unit10 Childhood memories	4. Unit7 Life on death row	13. Unit12 Gifted children	5. Unit7 Life on death row	14. Unit12 Gifted children	6. Unit7 Life on death row	15. まとめ	7. Unit8 Crazy criminals		8. Unit8 Crazy criminals		9. Unit8 Crazy criminals	
1. オリエンテーション	10. Unit10 Childhood memories																					
2. Unit6 Unusual occupations	11. Unit10 Childhood memories																					
3. Unit6 Unusual occupations	12. Unit10 Childhood memories																					
4. Unit7 Life on death row	13. Unit12 Gifted children																					
5. Unit7 Life on death row	14. Unit12 Gifted children																					
6. Unit7 Life on death row	15. まとめ																					
7. Unit8 Crazy criminals																						
8. Unit8 Crazy criminals																						
9. Unit8 Crazy criminals																						
評価方法	出席状況(10点)とテスト(90点)																					
教材・教科書	<u>Reading Keys Bronze Book A</u> (マクミラン ランゲージ ハウス)																					
留意点	欠席回数に注意すること。																					

外国語科目

科目名	英語ⅡA(日文)		担当教員	川浪亜弥子
対象学年	J2年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード G55010
概要	[キーワード: Living English] 毎回日常的なトピックを扱い、そこでよく使われる Vocabulary や Grammar に注目し、実際に声に出して練習していきながら生きた英語を学んでいきます。			
到達目標	日常のいろいろな場面において、英語で自分の言いたいことを臆せずに伝えられるようになることを目指します。			
授業の内容	1 Introduction 2 Unit 1 It's a wonderful world! 3 Unit 1 It's a wonderful world! 4 Unit 2 Get happy! 5 Unit 2 Get happy! 6 Unit 2 Get happy! 7 Unit 3 Telling tales 8 Unit 3 Telling tales 9 Unit 4 Doing the right thing 10 Unit 4 Doing the right thing 11 Unit 5 On the move 12 Unit 5 On the move 13 Unit 6 I just love it! 14 Unit 6 I just love it! 15 Review			
評価方法	出席 25%、授業中のパフォーマンス 15%、テスト 60%			
教材・教科書	New Headway: Intermediate, The Third Edition (Oxford)			
留意点	授業中は積極的な態度が求められます。 この講義は日本語・日本文学科の学生を対象とします。			

外国語科目

科目名	英語ⅡA(英文)		担当教員	川浪亜弥子
対象学年	E2年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード G55012
概要	[キーワード: Living English] 毎回日常的なトピックを扱い、そこでよく使われる Vocabulary や Grammar に注目し、実際に声に出して練習していきながら生きた英語を学んでいきます。			
到達目標	日常のいろいろな場面において、英語で自分の言いたいことを臆せずに伝えられるようになることを目指します。			
授業の内容	1 Introduction 2 Unit 1 It's a wonderful world! 3 Unit 1 It's a wonderful world! 4 Unit 2 Get happy! 5 Unit 2 Get happy! 6 Unit 2 Get happy! 7 Unit 3 Telling tales 8 Unit 3 Telling tales 9 Unit 4 Doing the right thing 10 Unit 4 Doing the right thing 11 Unit 5 On the move 12 Unit 5 On the move 13 Unit 6 I just love it! 14 Unit 6 I just love it! 15 Review			
評価方法	出席 25%、授業中のパフォーマンス 15%、テスト 60%			
教材・教科書	New Headway: Intermediate, The Third Edition (Oxford)			
留意点	授業中は積極的な態度が求められます。 この講義は英語・英米文学科の学生を対象とします。			

外国語科目

科目名	英語ⅡB(日文)		担当教員	川浪亜弥子																		
対象学年	J2年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード G55011																		
概要	〔キーワード：Living English〕 毎回日常的なトピックを扱い、そこでよく使われる Vocabulary や Grammar に注目し、実際に声に出して練習していきながら生きた英語を学んでいきます。																					
到達目標	日常のいろいろな場面において、英語で自分の言いたいことを臆せずに伝えられるようになることを目指します。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1 Introduction</td> <td>10 Unit 10 Obsessions</td> </tr> <tr> <td>2 Unit 7 The world of work</td> <td>11 Unit 11 Tell me about it!</td> </tr> <tr> <td>3 Unit 7 The world of work</td> <td>12 Unit 11 Tell me about it!</td> </tr> <tr> <td>4 Unit 8 Just imagine!</td> <td>13 Unit 12 Life's great events!</td> </tr> <tr> <td>5 Unit 8 Just imagine!</td> <td>14 Unit 12 Life's great events!</td> </tr> <tr> <td>6 Unit 9 Relationships</td> <td>15 Review</td> </tr> <tr> <td>7 Unit 9 Relationships</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 Unit 9 Relationships</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 Unit 10 Obsessions</td> <td></td> </tr> </table>				1 Introduction	10 Unit 10 Obsessions	2 Unit 7 The world of work	11 Unit 11 Tell me about it!	3 Unit 7 The world of work	12 Unit 11 Tell me about it!	4 Unit 8 Just imagine!	13 Unit 12 Life's great events!	5 Unit 8 Just imagine!	14 Unit 12 Life's great events!	6 Unit 9 Relationships	15 Review	7 Unit 9 Relationships		8 Unit 9 Relationships		9 Unit 10 Obsessions	
1 Introduction	10 Unit 10 Obsessions																					
2 Unit 7 The world of work	11 Unit 11 Tell me about it!																					
3 Unit 7 The world of work	12 Unit 11 Tell me about it!																					
4 Unit 8 Just imagine!	13 Unit 12 Life's great events!																					
5 Unit 8 Just imagine!	14 Unit 12 Life's great events!																					
6 Unit 9 Relationships	15 Review																					
7 Unit 9 Relationships																						
8 Unit 9 Relationships																						
9 Unit 10 Obsessions																						
評価方法	出席 25%、授業中のパフォーマンス 15%、テスト 60%																					
教材・教科書	New Headway: Intermediate, The Third Edition (Oxford)																					
留意点	授業中は積極的な態度が求められます。 この講義は日本語・日本文学科の学生を対象とします。																					

外国語科目

科目名	英語ⅡB(英文)		担当教員	川浪亜弥子																		
対象学年	E2年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード G55013																		
概要	〔キーワード：Living English〕 毎回日常的なトピックを扱い、そこでよく使われる Vocabulary や Grammar に注目し、実際に声に出して練習していきながら生きた英語を学んでいきます。																					
到達目標	日常のいろいろな場面において、英語で自分の言いたいことを臆せずに伝えられるようになることを目指します。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1 Introduction</td> <td>10 Unit 10 Obsessions</td> </tr> <tr> <td>2 Unit 7 The world of work</td> <td>11 Unit 11 Tell me about it!</td> </tr> <tr> <td>3 Unit 7 The world of work</td> <td>12 Unit 11 Tell me about it!</td> </tr> <tr> <td>4 Unit 8 Just imagine!</td> <td>13 Unit 12 Life's great events!</td> </tr> <tr> <td>5 Unit 8 Just imagine!</td> <td>14 Unit 12 Life's great events!</td> </tr> <tr> <td>6 Unit 9 Relationships</td> <td>15 Review</td> </tr> <tr> <td>7 Unit 9 Relationships</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 Unit 9 Relationships</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 Unit 10 Obsessions</td> <td></td> </tr> </table>				1 Introduction	10 Unit 10 Obsessions	2 Unit 7 The world of work	11 Unit 11 Tell me about it!	3 Unit 7 The world of work	12 Unit 11 Tell me about it!	4 Unit 8 Just imagine!	13 Unit 12 Life's great events!	5 Unit 8 Just imagine!	14 Unit 12 Life's great events!	6 Unit 9 Relationships	15 Review	7 Unit 9 Relationships		8 Unit 9 Relationships		9 Unit 10 Obsessions	
1 Introduction	10 Unit 10 Obsessions																					
2 Unit 7 The world of work	11 Unit 11 Tell me about it!																					
3 Unit 7 The world of work	12 Unit 11 Tell me about it!																					
4 Unit 8 Just imagine!	13 Unit 12 Life's great events!																					
5 Unit 8 Just imagine!	14 Unit 12 Life's great events!																					
6 Unit 9 Relationships	15 Review																					
7 Unit 9 Relationships																						
8 Unit 9 Relationships																						
9 Unit 10 Obsessions																						
評価方法	出席 25%、授業中のパフォーマンス 15%、テスト 60%																					
教材・教科書	New Headway: Intermediate, The Third Edition (Oxford)																					
留意点	授業中は積極的な態度が求められます。 この講義は英語・英米文学科の学生を対象とします。																					

外国語科目

科目名	ドイツ語 A		担当教員	福島伸雄																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード G56000																		
概要	〔キーワード： 基本をしっかり〕 ドイツ語 I の基礎をおさえる。																					
到達目標	発音をしっかり覚え、文構造をなりたたせているものを理解する。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. アルファベート</td> <td>10. 第 4 課(母音が変わる動詞)</td> </tr> <tr> <td>2. 発音</td> <td>11. 第 4 課(命令形)</td> </tr> <tr> <td>3. 発音の小テスト</td> <td>12. 練習問題 2</td> </tr> <tr> <td>4. 第 1 課(動詞の形)</td> <td>13. 第 5 課(人称代名詞)</td> </tr> <tr> <td>5. 第 2 課(名詞の性)</td> <td>14. 第 5 課(前置詞)</td> </tr> <tr> <td>6. 第 2 課(格変化)</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 練習問題 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 第 3 課(定冠詞類と不定冠詞類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 第 3 課(指示代名詞と疑問代名詞)</td> <td></td> </tr> </table>				1. アルファベート	10. 第 4 課(母音が変わる動詞)	2. 発音	11. 第 4 課(命令形)	3. 発音の小テスト	12. 練習問題 2	4. 第 1 課(動詞の形)	13. 第 5 課(人称代名詞)	5. 第 2 課(名詞の性)	14. 第 5 課(前置詞)	6. 第 2 課(格変化)	15. まとめ	7. 練習問題 1		8. 第 3 課(定冠詞類と不定冠詞類)		9. 第 3 課(指示代名詞と疑問代名詞)	
1. アルファベート	10. 第 4 課(母音が変わる動詞)																					
2. 発音	11. 第 4 課(命令形)																					
3. 発音の小テスト	12. 練習問題 2																					
4. 第 1 課(動詞の形)	13. 第 5 課(人称代名詞)																					
5. 第 2 課(名詞の性)	14. 第 5 課(前置詞)																					
6. 第 2 課(格変化)	15. まとめ																					
7. 練習問題 1																						
8. 第 3 課(定冠詞類と不定冠詞類)																						
9. 第 3 課(指示代名詞と疑問代名詞)																						
評価方法	出席点 50 点、試験 50 点																					
教材・教科書	『ハンサム ドイツ』高橋泰雄、城間宏朋 著 朝日出版社 『やさしい! ドイツ語の学習辞典』(同学社)を推薦します。																					
留意点	辞書をしっかりひいて予習して授業にのぞむこと。																					

外国語科目

科目名	ドイツ語 B		担当教員	田中岩男																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード G56002																		
概要	〔キーワード： 聞く、話す、書く 〕 ドイツ語の基礎的な運用能力(聞く、話す、書く)を養う。 ドイツ語の学習をとおして、ドイツ人のものの考え方やドイツの文化の一端に触れる。																					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ごく簡単な日常会話ができる程度のドイツ語コミュニケーション能力の養成 ・基礎的なドイツ語文法の習得 																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. アルファベート</td> <td>10. コーヒーが一杯ほしい/不定冠詞</td> </tr> <tr> <td>2. つづりと発音(1)</td> <td>11. コーヒーが一杯ほしい/所有冠詞</td> </tr> <tr> <td>3. つづりと発音(2)</td> <td>12. こちらザビーネです/不規則動詞</td> </tr> <tr> <td>4. 簡単な挨拶</td> <td>13. 何を注文する?/不規則動詞(2)</td> </tr> <tr> <td>5. 動詞の現在人称変化(1)</td> <td>14. 復習とコミュニケーション演習</td> </tr> <tr> <td>6. 動詞の現在人称変化(2)</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 疑問文と答え方</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 名詞の性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 定冠詞と名詞の格変化</td> <td></td> </tr> </table>				1. アルファベート	10. コーヒーが一杯ほしい/不定冠詞	2. つづりと発音(1)	11. コーヒーが一杯ほしい/所有冠詞	3. つづりと発音(2)	12. こちらザビーネです/不規則動詞	4. 簡単な挨拶	13. 何を注文する?/不規則動詞(2)	5. 動詞の現在人称変化(1)	14. 復習とコミュニケーション演習	6. 動詞の現在人称変化(2)	15. まとめ	7. 疑問文と答え方		8. 名詞の性		9. 定冠詞と名詞の格変化	
1. アルファベート	10. コーヒーが一杯ほしい/不定冠詞																					
2. つづりと発音(1)	11. コーヒーが一杯ほしい/所有冠詞																					
3. つづりと発音(2)	12. こちらザビーネです/不規則動詞																					
4. 簡単な挨拶	13. 何を注文する?/不規則動詞(2)																					
5. 動詞の現在人称変化(1)	14. 復習とコミュニケーション演習																					
6. 動詞の現在人称変化(2)	15. まとめ																					
7. 疑問文と答え方																						
8. 名詞の性																						
9. 定冠詞と名詞の格変化																						
評価方法	出席状況・授業態度・試験を総合的に評価します。 (平常点(出席点を含む)：50%、試験：50%)																					
教材・教科書	「ドイツ語インフォメーション neu2」(朝日出版社)を教科書として使います。 「やさしい! ドイツ語の学習辞典」(同学社)を推薦します。																					
留意点	楽しみながら、新しいことに挑戦するつもりで積極的に参加してください。																					

外国語科目

科目名	ドイツ語 C		担当教員	福島伸雄																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード G56001																		
概要	〔キーワード：基本をしっかり〕 ドイツ語 I の基礎をおさえる。																					
到達目標	辞書をひいて文章を理解し、簡単な会話ができるようにする。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 第 6 課(冠詞+形容詞+名詞)</td> <td>10. 第 9 課(動詞の過去人称変化)</td> </tr> <tr> <td>2. 第 6 課(形容詞の名詞化)</td> <td>11. 第 9 課(従属接続詞)</td> </tr> <tr> <td>3. 練習問題 3</td> <td>12. 第 10 課(現在完了形)</td> </tr> <tr> <td>4. 第 7 課(話法の助動詞)</td> <td>13. 第 10 課(現在完了形)</td> </tr> <tr> <td>5. 第 7 課(未来の助動詞)</td> <td>14. 練習問題 5</td> </tr> <tr> <td>6. 第 8 課(分離動詞)</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 第 8 課(再帰代名詞)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 練習問題 4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 第 9 課(動詞の 3 基本形)</td> <td></td> </tr> </table>				1. 第 6 課(冠詞+形容詞+名詞)	10. 第 9 課(動詞の過去人称変化)	2. 第 6 課(形容詞の名詞化)	11. 第 9 課(従属接続詞)	3. 練習問題 3	12. 第 10 課(現在完了形)	4. 第 7 課(話法の助動詞)	13. 第 10 課(現在完了形)	5. 第 7 課(未来の助動詞)	14. 練習問題 5	6. 第 8 課(分離動詞)	15. まとめ	7. 第 8 課(再帰代名詞)		8. 練習問題 4		9. 第 9 課(動詞の 3 基本形)	
1. 第 6 課(冠詞+形容詞+名詞)	10. 第 9 課(動詞の過去人称変化)																					
2. 第 6 課(形容詞の名詞化)	11. 第 9 課(従属接続詞)																					
3. 練習問題 3	12. 第 10 課(現在完了形)																					
4. 第 7 課(話法の助動詞)	13. 第 10 課(現在完了形)																					
5. 第 7 課(未来の助動詞)	14. 練習問題 5																					
6. 第 8 課(分離動詞)	15. まとめ																					
7. 第 8 課(再帰代名詞)																						
8. 練習問題 4																						
9. 第 9 課(動詞の 3 基本形)																						
評価方法	出席点 50 点、試験 50 点																					
教材・教科書	『ハンサム ドイツ』高橋泰雄、城間宏朋 著 朝日出版社 『やさしい! ドイツ語の学習辞典』(同学社)を推薦します。																					
留意点	辞書をしっかりひいて予習して授業にのぞむこと。																					

外国語科目

科目名	ドイツ語 D		担当教員	田中岩男																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード G56003																		
概要	〔キーワード：聞く、話す、書く〕 ドイツ語の基礎的な運用能力(聞く、話す、書く)を養う。 ドイツ語の学習をとおして、ドイツ人のものの考え方やドイツの文化の一端に触れる																					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ごく簡単な日常会話ができる程度のドイツ語コミュニケーション能力の養成 ・基礎的なドイツ語文法の習得 																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 市庁舎へはどう行きますか? / 前置詞</td> <td>10. 動詞の過去</td> </tr> <tr> <td>2. 市庁舎へはどう行きますか? / 数詞</td> <td>11. 動詞の過去分詞</td> </tr> <tr> <td>3. 話法の助動詞(1)</td> <td>12. 現在完了</td> </tr> <tr> <td>4. 話法の助動詞(2)</td> <td>13. 補足事項</td> </tr> <tr> <td>5. 列車は何時に発車しますか?</td> <td>14. 復習とコミュニケーション演習</td> </tr> <tr> <td>6. 時刻の読み方</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 形容詞の格変化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 音楽に興味がありますか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. とてもよかったです! / 動詞の 3 基本形</td> <td></td> </tr> </table>				1. 市庁舎へはどう行きますか? / 前置詞	10. 動詞の過去	2. 市庁舎へはどう行きますか? / 数詞	11. 動詞の過去分詞	3. 話法の助動詞(1)	12. 現在完了	4. 話法の助動詞(2)	13. 補足事項	5. 列車は何時に発車しますか?	14. 復習とコミュニケーション演習	6. 時刻の読み方	15. まとめ	7. 形容詞の格変化		8. 音楽に興味がありますか?		9. とてもよかったです! / 動詞の 3 基本形	
1. 市庁舎へはどう行きますか? / 前置詞	10. 動詞の過去																					
2. 市庁舎へはどう行きますか? / 数詞	11. 動詞の過去分詞																					
3. 話法の助動詞(1)	12. 現在完了																					
4. 話法の助動詞(2)	13. 補足事項																					
5. 列車は何時に発車しますか?	14. 復習とコミュニケーション演習																					
6. 時刻の読み方	15. まとめ																					
7. 形容詞の格変化																						
8. 音楽に興味がありますか?																						
9. とてもよかったです! / 動詞の 3 基本形																						
評価方法	出席状況・授業態度・試験を総合的に評価します。 (平常点(出席点を含む): 50%、試験: 50%)																					
教材・教科書	「ドイツ語インフォメーション neu2」(朝日出版社)を教科書として使います。 「やさしい! ドイツ語の学習辞典」(同学社)を推薦します。																					
留意点	楽しみながら、新しいことに挑戦するつもりで積極的に参加してください。																					

外国語科目

科目名	フランス語 A		担当教員	松山和子
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード G56004
概要	[キーワード: フランス語で話そう!] 自分の気持ちや考えを伝えるために必要な、基礎的なフランス語の語いや表現を学びながら、それらを実際に使うためのテクニックを身につけます。			
到達目標	フランス語で自己紹介ができるようになる!			
授業の内容	1. 教室で使う表現・挨拶 2. フランス語のアルファベットと発音 3. お名前は? 4. お元気ですか? 5. どこに住んでいますか? 6. ご出身は? 7. あなたの国籍は? 8. 職業は何ですか? 9. どんな言語を話しますか? 10. 数字と電話番号 11. 何を勉強していますか? 12. 時間割 13. 何が好きですか? 14. 何をするのが好きですか? 15. 前期(テキスト第1~4課)のまとめ			
評価方法	出席点40点、課題(作文等)評価点20点、試験40点			
教材・教科書	『EN SCENE I (場面で学ぶフランス語 I)』 三修社			
留意点	授業にただ出席するのではなく、グループワークや出された課題にも積極的に取り組んでください。			

外国語科目

科目名	フランス語 B		担当教員	工藤貴子
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード G56006
概要	[キーワード: コミュニケーションに生かす文法と発音] フランス語での会話表現を目標とする、もう一方の授業の助けになるよう、この授業では身に付けた表現に文法的な側面から説明を加え、幅広く応用できるようにします。			
到達目標	1. 自分やまわりの人(もの)について、フランス語で紹介できる 2. 1.に必要な、基本的なフランス語の文法や発音の規則が身につけている			
授業の内容	1. 自分の名前を言う、アルファベ 2. 第三者の名前、アルファベでスペルを言う 3. 国籍を言う 4. 国籍の女性形の作り方 5. 動詞«être»の活用と使い方 6. 職業を言う 7. 好きなものを言う 8. 住所や話せる言語/第一群規則動詞活用 9. 外見的特徴や性格を描写する 10. 形容詞の性・数一致/形容詞の位置(原則) 11. 形容詞の性・数一致/形容詞の位置(例外) 12. 家族構成を言う/動詞«avoir»活用 13. 家族を紹介する/所有形容詞 14. 家族を紹介する/所有形容詞 15. 前期まとめ			
評価方法	出席点10点 期末試験 90点 授業中の積極性と適宜行う小テスト+@			
教材・教科書	F comme français 『トライ!フランス語』(駿河台出版社) 藤田知子ほか著			
留意点	出来る限り、もう一方のフランス語の授業内容・進度に対応するよう配慮しますので、テキストを順番通り進むとは限りません。毎回出席するようにして、テキストのどこをやっているかを確認すること。また「休んだからわかりません」という言い訳は通りません。			

外国語科目

科目名	フランス語 C		担当教員	松山和子
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード G56005
概要	〔キーワード： フランス語で会話をしよう！ 〕 簡単なフランス語で自分の意思を相手に伝えることに加え、相手の話すことを理解するために必要な、対話のためのテクニックを身につけます。			
到達目標	フランス語で簡単な日常会話ができるようになる！			
授業の内容	1. これは何ですか？ 2. カバンの中に何が入っていますか？ 3. 今日は何曜日ですか？ 4. 今何時ですか？ 5. 休日の過ごし方 6. 今週末は何をしましたか？ 7. 外国旅行をしたことがありますか？ 8. これから何をしますか？ 9. 旅行の予定を立ててみよう！ 10. 朝食のメニュー 12. カフェで 13. レストランで 14. 天気 15. 前期（テキスト第5～11課）のまとめ			
評価方法	出席点40点、課題（作文等）評価点20点、試験40点			
教材・教科書	『EN SCENE I（場面で学ぶフランス語 I）』三修社			
留意点	授業にただ出席するのではなく、グループワークや出された課題にも積極的に取り組んでください。			

外国語科目

科目名	フランス語 D		担当教員	工藤貴子
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード G56007
概要	〔キーワード： コミュニケーションに生かす文法と発音 〕 フランス語での会話表現を目標とする、もう一方の授業の助けになるよう、この授業では身に付けた表現に文法的な側面から説明を加え、幅広く応用できるようにします。			
到達目標	1. 自分の行動や意思をフランス語で説明できる 2. 1.に必要な、基本的なフランス語の文法や発音の規則が身についている			
授業の内容	1. 名詞の性と不定冠詞 2. 否定文と否定の冠詞《de》 3. 年齢を言う 4. 時刻を尋ねる・教える 5. 疑問解答詞「どんな〜?」 6. 天候を尋ねる・教える／非人称構文 7. 行き先を言う／動詞《aller》活用 8. 前置詞と定冠詞の縮約 9. 動詞《venir》活用 10. 部分冠詞と不定冠詞 11. 食べるもの、飲むものを言う 12. クレープのレシピを読む 13. 命令形の作り方 14. 近接未来形 15. 後期まとめ			
評価方法	出席点10点 期末試験 90点 授業中の積極性と適宜行う小テスト+@			
教材・教科書	<i>F comme français</i> 『トライ！フランス語』（駿河台出版社） 藤田知子ほか著			
留意点	出来る限り、もう一方のフランス語の授業内容・進度に対応するよう配慮しますので、テキストを順番通り進むとは限りません。毎回出席するようにして、テキストのどこをやっているかを確認すること。また「休んだからわかりません」という言い訳は通りません。			

外国語科目

科目名	中国語 A			担当教員	顧偉良																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード	G56008																		
概要	[キーワード:] 発音から学ぶ中国語。初級文法を習得し、簡単な中国語会話を身につける。																						
到達目標	中国語の発音、基礎文法の習得																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 発音練習 母音</td> <td>10. 練習 (判断文・疑問文・動詞文・形容詞文)</td> </tr> <tr> <td>2. 発音練習 子音</td> <td>11. 第五課 助動詞 (一)</td> </tr> <tr> <td>3. 発音練習 複母音</td> <td>12. 練習 助動詞</td> </tr> <tr> <td>4. 発音練習 鼻母音</td> <td>13. 第六課 助動詞 (二)</td> </tr> <tr> <td>5. 発音まとめ</td> <td>14. 練習 助動詞</td> </tr> <tr> <td>6. 第一課 判断文 動詞「是」の使い方</td> <td>15. 第一課から第六課のまとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 第二課 疑問文</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 第三課 動詞文</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 第四課 形容詞文</td> <td></td> </tr> </table>					1. 発音練習 母音	10. 練習 (判断文・疑問文・動詞文・形容詞文)	2. 発音練習 子音	11. 第五課 助動詞 (一)	3. 発音練習 複母音	12. 練習 助動詞	4. 発音練習 鼻母音	13. 第六課 助動詞 (二)	5. 発音まとめ	14. 練習 助動詞	6. 第一課 判断文 動詞「是」の使い方	15. 第一課から第六課のまとめ	7. 第二課 疑問文		8. 第三課 動詞文		9. 第四課 形容詞文	
1. 発音練習 母音	10. 練習 (判断文・疑問文・動詞文・形容詞文)																						
2. 発音練習 子音	11. 第五課 助動詞 (一)																						
3. 発音練習 複母音	12. 練習 助動詞																						
4. 発音練習 鼻母音	13. 第六課 助動詞 (二)																						
5. 発音まとめ	14. 練習 助動詞																						
6. 第一課 判断文 動詞「是」の使い方	15. 第一課から第六課のまとめ																						
7. 第二課 疑問文																							
8. 第三課 動詞文																							
9. 第四課 形容詞文																							
評価方法	出席30点 試験70点																						
教材・教科書	『基礎中国語 步步高』、																						
留意点																							

外国語科目

科目名	中国語 B			担当教員	顧偉良																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード	G56010																		
概要	[キーワード:] 発音から学ぶ中国語。初級文法を習得し、簡単な中国語会話を身につける。																						
到達目標	中国語の発音、基礎文法の習得																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 発音練習 母音</td> <td>10. 練習 (判断文・疑問文・動詞文・形容詞文)</td> </tr> <tr> <td>2. 発音練習 子音</td> <td>11. 第五課 助動詞 (一)</td> </tr> <tr> <td>3. 発音練習 複母音</td> <td>12. 練習 助動詞</td> </tr> <tr> <td>4. 発音練習 鼻母音</td> <td>13. 第六課 助動詞 (二)</td> </tr> <tr> <td>5. 発音まとめ</td> <td>14. 練習 助動詞</td> </tr> <tr> <td>6. 第一課 判断文 動詞「是」の使い方</td> <td>15. 第一課から第六課のまとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 第二課 疑問文</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 第三課 動詞文</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 第四課 形容詞文</td> <td></td> </tr> </table>					1. 発音練習 母音	10. 練習 (判断文・疑問文・動詞文・形容詞文)	2. 発音練習 子音	11. 第五課 助動詞 (一)	3. 発音練習 複母音	12. 練習 助動詞	4. 発音練習 鼻母音	13. 第六課 助動詞 (二)	5. 発音まとめ	14. 練習 助動詞	6. 第一課 判断文 動詞「是」の使い方	15. 第一課から第六課のまとめ	7. 第二課 疑問文		8. 第三課 動詞文		9. 第四課 形容詞文	
1. 発音練習 母音	10. 練習 (判断文・疑問文・動詞文・形容詞文)																						
2. 発音練習 子音	11. 第五課 助動詞 (一)																						
3. 発音練習 複母音	12. 練習 助動詞																						
4. 発音練習 鼻母音	13. 第六課 助動詞 (二)																						
5. 発音まとめ	14. 練習 助動詞																						
6. 第一課 判断文 動詞「是」の使い方	15. 第一課から第六課のまとめ																						
7. 第二課 疑問文																							
8. 第三課 動詞文																							
9. 第四課 形容詞文																							
評価方法	出席30点 試験70点																						
教材・教科書	『基礎中国語 步步高』、																						
留意点																							

外国語科目

科目名	中国語 C			担当教員	顧偉良																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード	G56009																		
概要	[キーワード:] 中国語の基本構造、構文法、会話を習得する。簡単な基礎中国語を身につける。																						
到達目標	基礎中国語の文法、構文法の理解																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 第一課 判断文・疑問文</td> <td>10. 練習・「了」の使い方</td> </tr> <tr> <td>2. 練習(判断文・疑問文)</td> <td>11. 第六課 補語・助動詞</td> </tr> <tr> <td>3. 第二課 動詞述語文</td> <td>12. 練習 (補語・助動詞)</td> </tr> <tr> <td>4. 練習(動詞述語文)</td> <td>13. 第七課 時間名詞・量詞</td> </tr> <tr> <td>5. 第三課 形容詞述語文</td> <td>14. 練習 (時間名詞・量詞)</td> </tr> <tr> <td>6. 練習(形容詞述語文)</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 第四課 介詞</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 練習・介詞</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 第五課 「了」の使い方</td> <td></td> </tr> </table>					1. 第一課 判断文・疑問文	10. 練習・「了」の使い方	2. 練習(判断文・疑問文)	11. 第六課 補語・助動詞	3. 第二課 動詞述語文	12. 練習 (補語・助動詞)	4. 練習(動詞述語文)	13. 第七課 時間名詞・量詞	5. 第三課 形容詞述語文	14. 練習 (時間名詞・量詞)	6. 練習(形容詞述語文)	15. まとめ	7. 第四課 介詞		8. 練習・介詞		9. 第五課 「了」の使い方	
1. 第一課 判断文・疑問文	10. 練習・「了」の使い方																						
2. 練習(判断文・疑問文)	11. 第六課 補語・助動詞																						
3. 第二課 動詞述語文	12. 練習 (補語・助動詞)																						
4. 練習(動詞述語文)	13. 第七課 時間名詞・量詞																						
5. 第三課 形容詞述語文	14. 練習 (時間名詞・量詞)																						
6. 練習(形容詞述語文)	15. まとめ																						
7. 第四課 介詞																							
8. 練習・介詞																							
9. 第五課 「了」の使い方																							
評価方法	出席30点 試験70点																						
教材・教科書	『基礎中国語 步步高』、																						
留意点																							

外国語科目

科目名	中国語 D			担当教員	顧偉良																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・後期	科目コード	G56011																		
概要	[キーワード:] 中国語の基本構造、構文法、会話を習得する。簡単な基礎中国語を身につける。																						
到達目標	基礎中国語の文法、構文法の理解																						
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 第一課 判断文・疑問文</td> <td>10. 練習・「了」の使い方</td> </tr> <tr> <td>2. 練習(判断文・疑問文)</td> <td>11. 第六課 補語・助動詞</td> </tr> <tr> <td>3. 第二課 動詞述語文</td> <td>12. 練習 (補語・助動詞)</td> </tr> <tr> <td>4. 練習(動詞述語文)</td> <td>13. 第七課 時間名詞・量詞</td> </tr> <tr> <td>5. 第三課 形容詞述語文</td> <td>14. 練習 (時間名詞・量詞)</td> </tr> <tr> <td>6. 練習(形容詞述語文)</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. 第四課 介詞</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 練習・介詞</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 第五課 「了」の使い方</td> <td></td> </tr> </table>					1. 第一課 判断文・疑問文	10. 練習・「了」の使い方	2. 練習(判断文・疑問文)	11. 第六課 補語・助動詞	3. 第二課 動詞述語文	12. 練習 (補語・助動詞)	4. 練習(動詞述語文)	13. 第七課 時間名詞・量詞	5. 第三課 形容詞述語文	14. 練習 (時間名詞・量詞)	6. 練習(形容詞述語文)	15. まとめ	7. 第四課 介詞		8. 練習・介詞		9. 第五課 「了」の使い方	
1. 第一課 判断文・疑問文	10. 練習・「了」の使い方																						
2. 練習(判断文・疑問文)	11. 第六課 補語・助動詞																						
3. 第二課 動詞述語文	12. 練習 (補語・助動詞)																						
4. 練習(動詞述語文)	13. 第七課 時間名詞・量詞																						
5. 第三課 形容詞述語文	14. 練習 (時間名詞・量詞)																						
6. 練習(形容詞述語文)	15. まとめ																						
7. 第四課 介詞																							
8. 練習・介詞																							
9. 第五課 「了」の使い方																							
評価方法	出席30点 試験70点																						
教材・教科書	『基礎中国語 步步高』、																						
留意点																							

保健体育科目

科目名	スポーツ科学講義		担当教員	棟方達也																
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	2単位・前期	科目コード G57000																
概要	スポーツは遊びです。しかしスポーツは現代社会に広く浸透し、文化的生活に影響を与える重要な存在であるばかりでなく、物質的にも精神的にも世界を動かす大きな要因となっています。スポーツ界の縮図とも言えるオリンピックを中心にスポーツを多角的に概観し、新たなスポーツ像を見出してみましょう。																			
到達目標	スポーツの存在を再認識しその面白さを発見する。																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス及び導入</td> <td>9. スポーツと女性</td> </tr> <tr> <td>2. スポーツとは？スポーツ科学とは？</td> <td>10. スポーツと国際関係</td> </tr> <tr> <td>3. オリンピックという存在</td> <td>11. スポーツと自然</td> </tr> <tr> <td>4. 古代オリンピック</td> <td>12. スポーツと数字（記録）</td> </tr> <tr> <td>5. 近代オリンピックと日本</td> <td>13. ドーピング問題</td> </tr> <tr> <td>6. オリンピックとビジネス</td> <td>14. スポーツ時事ネタ</td> </tr> <tr> <td>7. 映像資料に見るオリンピック 1</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 映像資料に見るオリンピック 2</td> <td></td> </tr> </table>				1. ガイダンス及び導入	9. スポーツと女性	2. スポーツとは？スポーツ科学とは？	10. スポーツと国際関係	3. オリンピックという存在	11. スポーツと自然	4. 古代オリンピック	12. スポーツと数字（記録）	5. 近代オリンピックと日本	13. ドーピング問題	6. オリンピックとビジネス	14. スポーツ時事ネタ	7. 映像資料に見るオリンピック 1	15. まとめ	8. 映像資料に見るオリンピック 2	
1. ガイダンス及び導入	9. スポーツと女性																			
2. スポーツとは？スポーツ科学とは？	10. スポーツと国際関係																			
3. オリンピックという存在	11. スポーツと自然																			
4. 古代オリンピック	12. スポーツと数字（記録）																			
5. 近代オリンピックと日本	13. ドーピング問題																			
6. オリンピックとビジネス	14. スポーツ時事ネタ																			
7. 映像資料に見るオリンピック 1	15. まとめ																			
8. 映像資料に見るオリンピック 2																				
評価方法	試験:100点																			
教材・教科書	ppt.使用																			
留意点	教職免許のために確実に「体育(2単位)」を習得したい人は、実技を履修することをお勧めします。																			

保健体育科目

科目名	スポーツ科学実技 A(エアロビクス)		担当教員	高橋佳子																
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード G57001																
概要	[キーワード: 有酸素運動、エアロビクス] 健康づくりのためになぜ有酸素運動(エアロビクス)が必要なのかを理解し、安全に楽しく有酸素運動を行うための方法を、エアロビック ダンス エクササイズを通して学ぶ。																			
到達目標	<p>1.音楽に合わせて身体を動かすことが、「いかに楽しく、いかに気持ちよいか」体験することで、今後の運動習慣の動機付けができる。</p> <p>2.簡単なステップを覚え、自分自身の運動習慣に活用できる。</p>																			
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1.エアロビクス理論と健康</td> <td>9.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム</td> </tr> <tr> <td>2.エアロビック ダンス エクササイズ(基本ステップ)</td> <td>④)10.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム④)</td> </tr> <tr> <td>3.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム①)</td> <td>11.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム⑤)</td> </tr> <tr> <td>4.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム①)</td> <td>12.エアロビック ダンス エクササイズ(振り付けの考案①)</td> </tr> <tr> <td>5.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム②)</td> <td>13.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム⑤)</td> </tr> <tr> <td>6.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム②)</td> <td>14.エアロビック ダンス エクササイズ(振り付けの考案②)</td> </tr> <tr> <td>7.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム③)</td> <td>15.エアロビック ダンス エクササイズ(まとめ、各自が考えた振り付けの発表)</td> </tr> <tr> <td>8.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム③)</td> <td>(※受講者の体力レベルに合わせて、プログラムを展開する。)</td> </tr> </table>				1.エアロビクス理論と健康	9.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム	2.エアロビック ダンス エクササイズ(基本ステップ)	④)10.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム④)	3.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム①)	11.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム⑤)	4.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム①)	12.エアロビック ダンス エクササイズ(振り付けの考案①)	5.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム②)	13.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム⑤)	6.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム②)	14.エアロビック ダンス エクササイズ(振り付けの考案②)	7.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム③)	15.エアロビック ダンス エクササイズ(まとめ、各自が考えた振り付けの発表)	8.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム③)	(※受講者の体力レベルに合わせて、プログラムを展開する。)
1.エアロビクス理論と健康	9.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム																			
2.エアロビック ダンス エクササイズ(基本ステップ)	④)10.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム④)																			
3.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム①)	11.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム⑤)																			
4.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム①)	12.エアロビック ダンス エクササイズ(振り付けの考案①)																			
5.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム②)	13.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム⑤)																			
6.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム②)	14.エアロビック ダンス エクササイズ(振り付けの考案②)																			
7.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム③)	15.エアロビック ダンス エクササイズ(まとめ、各自が考えた振り付けの発表)																			
8.エアロビック ダンス エクササイズ(プログラム③)	(※受講者の体力レベルに合わせて、プログラムを展開する。)																			
評価方法	出席点 20 点、受講態度 20 点、実技の評価点 60 点により総合的に評価する。																			
教材・教科書	特になし																			
留意点	経験のない方も運動の苦手な方も安心して受講できます。運動の出来る服装・ズック着用、大判タオル・水またはお茶(500ml 以上)を持参の上参加してください。																			

保健体育科目

科目名	スポーツ科学実技B(スノースポーツ)		担当教員	棟方達也
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・後期集中	科目コード G57002
概要	<p>[種目の専門的指導を重視して1種目1単位とする種目別選択制を採用しています。また、アウトドア系種目を積極的に導入しているのが本学の特徴で、集中講義として開講されています。]</p> <p>スノースポーツでは、スキーまたはスノーボードを選択し、各自のレベルに応じたグループ指導によりスキルアップを目指します。雪国の大学でスノースポーツを習得し、生涯スポーツとしてよりいっそう楽しめるようになりましょう。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で楽しい技術の習得 ・スノースポーツの楽しさの理解 			
授業の内容	<p>1. 事前ガイダンス(12月)</p> <p>2. 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習地: 安比高原スキー場 ・日程: 原則として冬休み中 2泊3日 (降雪状況等により延期あり) <p>◆専門演習 I (棟方ゼミ) 受講予定者は、2年次までに履修しておくことが望ましい。</p>			
評価方法	実習参加状況 100%			
教材・教科書				
留意点	履修登録後、受講費内金として¥20,000 徴収。(注: キャンセルした場合、返金されません。) 受講費総額(内金含む)目安¥40,000。3学部合同開講。受講者数次第では、実施形式の変更または開講しない場合もあります。			

保健体育科目

科目名	スポーツ科学実技C(バスケッ2)		担当教員	棟方達也
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期集中	科目コード G57003
概要	<p>[種目の専門的指導を重視して1種目1単位とする種目別選択制を採用しています。]</p> <p>バスケットボールでは、最も基本的な個人の動きからゲームにおける攻防の展開までを論理的に理解しつつ実践を学びます。</p>			
到達目標	バスケットボールという球技を合理的に理解する。チームの一人一人に必ず役割があることをふまえ、技術レベルに関わらずそれを実践しようと努力する。			
授業の内容	<p>(1) ガイダンス</p> <p>(2) 基礎知識</p> <p>(3) 実技</p> <p>①基本動作(フットワーク、ボールの扱い 等)</p> <p>②基本技術(パス、キャッチ、ラン、シュート)</p> <p>③応用実技(Defense Offense Game)</p> <p>日程 9月12日~14日(予定)</p>			
評価方法	出席点:80点 学科(ルール)テスト:20点			
教材・教科書				
留意点	<p>原則として男子のみ受講可</p> <p>ただし、女子でも部活動経験等により男子の運動量についていける自信がある者は受講可。</p> <p>3学部合同開講 ※定員:32名。ただし、受講者数が10名に満たない場合は開講せず。</p>			

保健体育科目

科目名	スポーツ科学実技E(バスケット1)		担当教員	棟方達也																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期	科目コード G57005																		
概要	[種目の専門的指導を重視して1種目1単位とする種目別選択制を採用しています。] バスケットボールでは、最も基本的な個人の動きからゲームにおける攻防の展開までを論理的に理解しつつ実践を学びます。																					
到達目標	バスケットボールという球技を合理的に理解する。 チームの一人一人に必ず役割があることをふまえ、技術レベルに関わらずそれを実践しようと努力する。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. ガイダンス</td> <td>10. オフェンス2</td> </tr> <tr> <td>2. 受講者レベル確認</td> <td>11. オフェンス3</td> </tr> <tr> <td>3. バスケットボールに必要な基本の動き</td> <td>12. オフェンス4</td> </tr> <tr> <td>4. ボールハンドリング</td> <td>13. ゲーム</td> </tr> <tr> <td>5. ディフェンス1</td> <td>14. ゲーム</td> </tr> <tr> <td>6. ディフェンス2</td> <td>15. まとめ</td> </tr> <tr> <td>7. ディフェンス3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. ディフェンス4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. オフェンス1</td> <td></td> </tr> </table>				1. ガイダンス	10. オフェンス2	2. 受講者レベル確認	11. オフェンス3	3. バスケットボールに必要な基本の動き	12. オフェンス4	4. ボールハンドリング	13. ゲーム	5. ディフェンス1	14. ゲーム	6. ディフェンス2	15. まとめ	7. ディフェンス3		8. ディフェンス4		9. オフェンス1	
1. ガイダンス	10. オフェンス2																					
2. 受講者レベル確認	11. オフェンス3																					
3. バスケットボールに必要な基本の動き	12. オフェンス4																					
4. ボールハンドリング	13. ゲーム																					
5. ディフェンス1	14. ゲーム																					
6. ディフェンス2	15. まとめ																					
7. ディフェンス3																						
8. ディフェンス4																						
9. オフェンス1																						
評価方法	出席点:80点 学科(ルール)テスト:20点																					
教材・教科書																						
留意点	3学部合同で実施 女子のみ受講可 定員:32名 但し、受講者が定員に満たない場合は開講せず。																					

保健体育科目

科目名	スポーツ科学実技F(柔道)		担当教員	高橋俊哉																		
対象学年	EJ1年	単位数・開講学期	1単位・前期集中	科目コード G57006																		
概要	[キーワード:柔道、安全] 柔道の基本を楽しく学習します。 基本動作、受身、固め技、投げ技を学習します。試合、型、護身術についても体験します。																					
到達目標	受け身を確実にマスターし、安全に試合を楽しむことができる。																					
授業の内容	<table border="0"> <tr> <td>1. 柔道の歴史と意義、基本動作</td> <td>10. 約束稽古、縦四方固、肩固</td> </tr> <tr> <td>2. 後ろ受け身、大内刈、小内刈</td> <td>11. 乱取り、関節技</td> </tr> <tr> <td>3. 横受け身、送足払、出足払</td> <td>12. 投の形、絞め技</td> </tr> <tr> <td>4. 横転横受け身、膝車、支釣込足</td> <td>13. 審判法、寝技の練習法</td> </tr> <tr> <td>5. 大外刈、小外刈</td> <td>14. 試合</td> </tr> <tr> <td>6. 前回り受け身、大腰</td> <td>15. 護身術</td> </tr> <tr> <td>7. 前回り受け身、釣込腰、体落、袈裟固</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 背負投、払腰、内股、横四方固</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 立ち技の練習法、上四方固</td> <td></td> </tr> </table>				1. 柔道の歴史と意義、基本動作	10. 約束稽古、縦四方固、肩固	2. 後ろ受け身、大内刈、小内刈	11. 乱取り、関節技	3. 横受け身、送足払、出足払	12. 投の形、絞め技	4. 横転横受け身、膝車、支釣込足	13. 審判法、寝技の練習法	5. 大外刈、小外刈	14. 試合	6. 前回り受け身、大腰	15. 護身術	7. 前回り受け身、釣込腰、体落、袈裟固		8. 背負投、払腰、内股、横四方固		9. 立ち技の練習法、上四方固	
1. 柔道の歴史と意義、基本動作	10. 約束稽古、縦四方固、肩固																					
2. 後ろ受け身、大内刈、小内刈	11. 乱取り、関節技																					
3. 横受け身、送足払、出足払	12. 投の形、絞め技																					
4. 横転横受け身、膝車、支釣込足	13. 審判法、寝技の練習法																					
5. 大外刈、小外刈	14. 試合																					
6. 前回り受け身、大腰	15. 護身術																					
7. 前回り受け身、釣込腰、体落、袈裟固																						
8. 背負投、払腰、内股、横四方固																						
9. 立ち技の練習法、上四方固																						
評価方法	出席点30点・レポート評価70点																					
教材・教科書																						
留意点	貸し出し用柔道着に限りがありますので、用意できる人は持参してください。																					

